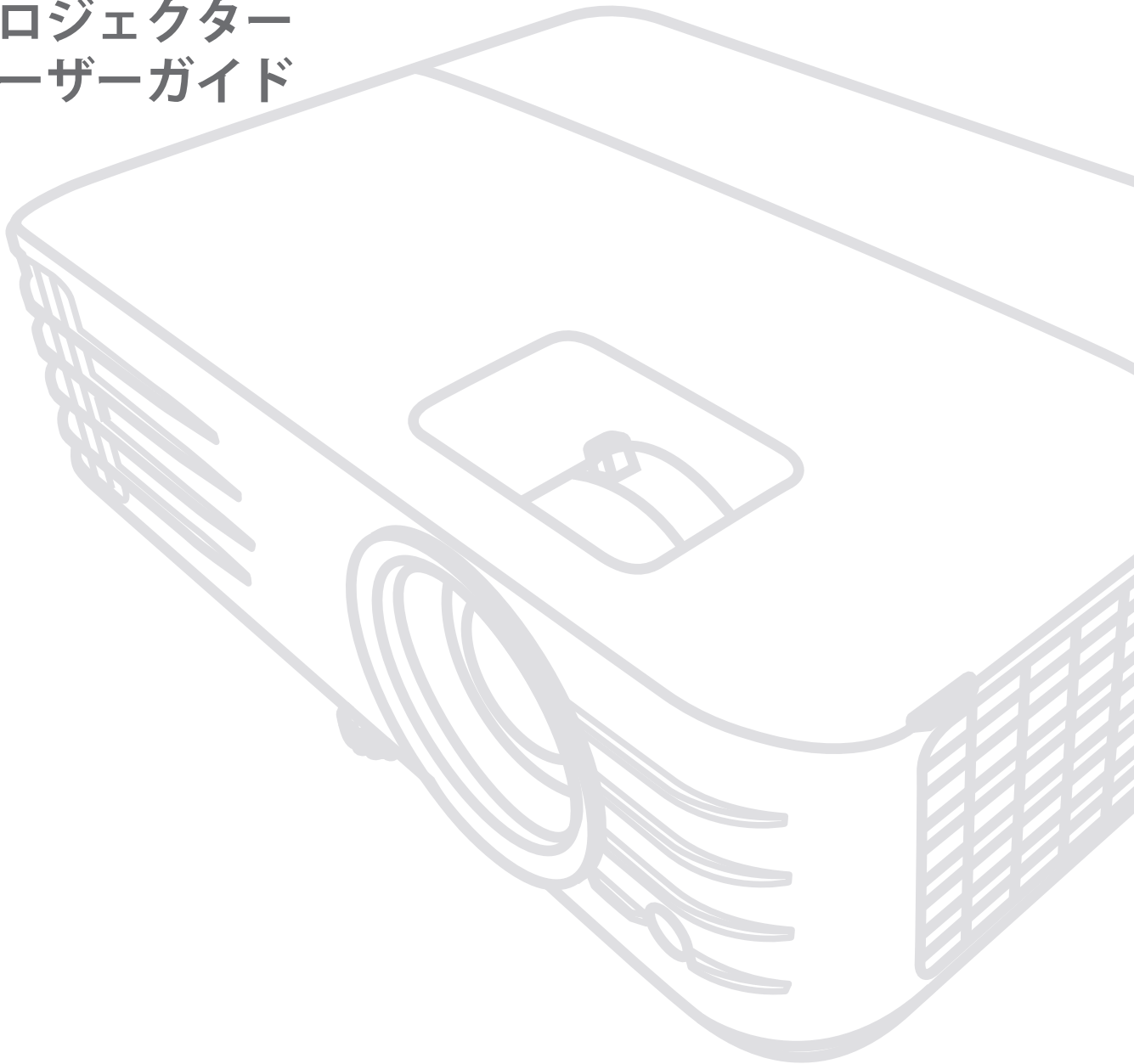


> PX701HD

PX701HDH

プロジェクター
ユーザーガイド



モデル番号 VS17689
型番：PX701HD | PX701HDH

ViewSonic® 製品をお買い上げいただきありがとうございます。

ViewSonic® は技術進化、技術革新、簡略化において世界の期待を超えるビジュアルソリューションを提供し続けております。ViewSonic® は世界にインパクトを与える必ずお客様にご満足いただける ViewSonic® 製品をお届けします。

このたびは、ViewSonic® 製品をお買い上げいただきありがとうございます。

> 安全のためのご注意 - 全般

本機をご使用になる前に、次の**安全のためのご注意**をお読みください。

- 本書は必要なときにいつでも参照できるように、安全な場所に保管しておいてください。
- 注意や警告はすべてお読みになり、その指示に従ってください。
- 適切な通気のために、本機の周囲は最低 20" (50 cm) のスペースを保ってください。
- 本機は通気のよい場所に設置してください。熱がこもるため、本機の上に物を載せないでください。
- 本機は平坦な安定した場所に設置してください。本機が落下すると、ケガや故障の原因となります。
- 左右の傾きが 10°、または前後の傾きが 15° を超える状態では使用しないでください。
- 動作中は、プロジェクターのレンズを覗き込まないでください。強い光線なので、視力障害を引き起こす恐れがあります。
- 本機のランプをオンにするときは、必ずレンズシャッターを開くか、レンズキャップを取り外してください。
- 本機が作動しているときに投写レンズを物体で塞ぐと、それが過熱して変形したり、火災の原因となったりします。
- ランプは、動作中に非常に高温になります。ランプ部を取り外して交換する場合は、プロジェクターの電源を切ってから 45 分間ほど放置して、本機を常温に戻してください。
- ランプは定格寿命より長く使用しないでください。ごくまれですが、定格寿命より長く使用すると、ランプが破裂することがあります。
- ランプ部や電子部品の交換は、必ず本機の電源プラグを抜いてから行ってください。
- 本装置のキャビネットは開けないでください。内部には危険な電圧が流れており、触れると死に至る場合もあります。
- 本機を動かす時には、落としたりぶつけたりしないでください。
- 本機や接続ケーブルの上に重い物を載せないでください。
- 装置を縦向きにしないでください。縦向きにするとプロジェクターが倒れ、けがをしたり故障したりする恐れがあります。
- 本機を直射日光や熱源の熱にさらさないでください。ラジエーターやヒーター、ストーブ、その他の熱源（アンプなど）の近くに本機を設置すると、本機が高温になり危険です。

- 本機の上または近くに液体を置かないでください。本機の内部に液体がこぼれると故障の原因になります。本機が濡れてしまった場合は、コンセントからプラグを抜いて、お近くのサービスセンターに補修を依頼してください。
- 本機が作動しているときには、通気孔から熱風と臭気を感じる場合があります。これは正常な状態であり、製品の欠陥によるものではありません。
- 有極プラグやアースプラグの安全対策は外さないでください。有極プラグには2つのブレードがあり、1つはもう片方よりも幅広になっています。アースタイプのプラグには2つのブレード、接地用突起が1つあります。幅広のブレードと3つ目の突起は安全対策用です。プラグがコンセントに合わない場合は、無理にプラグをコンセントに差し込もうとしないでください。
- コンセントに差し込むときに、接地用突起を切除しないでください。接地用突起は絶対に外さないでください。
- 電源コードは特にプラグ部分を踏みつけたり、強く挟んだりしないでください。
- 国によっては、電源電圧が不安定な場合もあります。本機は電源がAC100 ~ 240V の電圧範囲のときに安全に作動するように設計されていますが、停電や ±10V のサージが発生すると故障する可能性があります。電源の電圧が変動したり、電源供給が中断したりする地域では、電源安定器、サージプロテクタ、または無停電電源装置 (UPS) にプロジェクターを接続することをお勧めします。
- 煙、異常音、異臭が認められる場合は、直ちに本機の電源を切り販売店または ViewSonic® にお問合せください。本機を使い続けることは危険です。
- 付属品/アクセサリは、メーカーが指定するものだけをご使用ください。
- 長時間本機を使用しない場合は、コンセントから電源コードを抜いてください。
- 点検修理については、すべてサポートセンターにお問い合わせください。



注意：この製品からは、光放射が放出される可能性があります。他の光源同様、直接光線を見つめることはお止めください。

RG2 IEC 62471-5:2015

> 安全のためのご注意 - 天井取り付け

本機をご使用になる前に、次の**安全のためのご注意**をお読みください。

本機を天井に取り付ける場合は、適合する天井取り付けキットをお使いになり、しっかりと確実に設置してください。

適合しない天井取り付けキットをお使いになると、ゲージやネジの長さが正確でないため本機が正しく固定されず落下してしまう恐れがあります。

プロジェクター天井取り付けキットは、本機を購入された販売店でお買い求めいただけます。また別途セキュリティ ケーブルをお求めになり、プロジェクターの盗難防止用ロックスロットと天井取り付けブラケットのベースをセキュリティケーブルでしっかりと繋いでおくことをお薦めします。このようにしておくと、万一天井取り付けブラケットが緩んでしまった場合にも、プロジェクターを補助的に支えることができます。

> 目次

安全のためのご注意 - 全般	3
機能	10
梱包内容	10
概要	11
プロジェクター	11
制御装置および機能	11
接続ポート	12
リモコン	13
制御装置および機能	13
リモコンの有効範囲	14
リモコンの電池の交換	14
設置場所の選択	15
初期設定	15
投写サイズ	16
16:9 スクリーンに 16:9 の画像	16
4:3 スクリーンに 16:9 の画像	17
プロジェクターの取り付け	18
不正使用の禁止	19
セキュリティスロットの使い方	19
パスワード機能を使う	20
パスワードの設定	20
パスワードの変更	21
パスワード機能を無効にする	21
パスワードを忘れた場合	22
パスワード呼び出し手順	22
コントロールキーをロックする	23
電源に繋ぐ	24

接続	24
ビデオ入力源への接続	25
HDMI 接続	25
コンピューター入力源への接続	26
VGA 接続.....	26
VGA 出力接続.....	26
オーディオ接続	27
プロジェクターの電源をオン/オフにする	28
プロジェクターの起動.....	28
初回アクティベーション.....	28
操作	28
プロジェクターをシャットダウンする	29
入力源の選択	30
投写画像の調整	31
高さと投写角度の調整.....	31
画像の自動調整.....	31
画像サイズと明瞭さの微調整	31
台形補正.....	32
投写画像の操作性.....	32
画像を隠す	33
一般的なオンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューの操作.....	34
メニュー機能	34
オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニュー構造.....	35
表示メニュー	40
画像メニュー	43
電源管理メニュー	47
基本メニュー	50
詳細メニュー	52
システムメニュー	55
情報メニュー	57
仕様.....	58

付録	58
本機サイズ.....	59
タイミングチャート	59
アナログ RGB.....	59
HDMI (PC).....	60
HDMI (ビデオ)	62
IR 制御表.....	62
アドレスコード	63
RS-232 コマンド表.....	64
ピン割り当て.....	64
インターフェイス.....	64
コマンド表.....	64
用語集.....	70
トラブルシューティング	73
一般的な問題.....	73
LED インジケーター	74
メンテナンス	75
全般的な注意.....	75
レンズのお手入れ.....	75
ケースのお手入れ.....	75
プロジェクターの保管.....	75
おことわり.....	75
ランプ情報.....	76
ランプ時間.....	76
ランプ寿命を延長する	76
ランプの交換タイミング	77
ランプの交換.....	77
コンプライアンス情報	78
FCC 準拠宣言.....	78
Industry Canada Statement.....	78
ヨーロッパ諸国における CE 準拠	78

規制および補修情報	78
RoHS2 準拠宣言	79
インドの有害物質に関する制限	80
廃棄処分について	80
著作権情報	81
カスタマーサービス	82
限定保証	83

> はじめに

ViewSonic PX701HD/HDH は明るいリビングや会議室などで驚異的な性能を発揮する、フル HD 1080p 解像度を備えた高輝度 3,500 ANSI Lumens プロジェクターです。本機は最新のランプ設計を採用しており、SuperEco+ モードで最長ランプ寿命 20,000 時間を実現します。ランプの交換頻度を確実に減少させ、メンテナンス費用の削減にも貢献します。デジタルレンズシフトですので、リモコンでの調整が可能です。また、カラースプロファイルの交換及び調整を行うための vColorTuner 機能にも対応しています。デュアル HDMI 入力および USB 電源により、ゲーミング、ムービー、ワイヤレスプレゼンテーション用のワイヤレスハードウェアキーなど多様なマルチメディア機器に接続することができます。

機能

- ランプ寿命 20,000 時間。
- 一定期間信号の入力が検出されなければランプの電力消費量を最大 60% まで削減する省エネ機能。
- USB Type A を使ったファームウェアアップデート。
- HDMI ワイヤレスハードウェアキーおよび電源でストリーミングできる USB Type A ポート。
- 目的に応じて切り替えられる 7 種類のカラーモード。
- プレゼンテーション時間を管理しやすいプレゼンテーションタイマー。
- リモコンによる縦レンズシフトが可能です。
- 3D ディスプレイ対応。
- 省エネモードがオンのとき、電力消費量が 0.5 W 以下。
- 直ちに信号検出ができるクイック自動検索機能。
- 最善の画質で表示するワンキー自動調整機能(アナログ信号のみ)。
- デジタル キーストーン補正。
- 10.7 億色を表示可能。
- 言語を選択できるオンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー。
- HDMI CEC (Consumer Electronics Control) 機能は、プロジェクターとプロジェクターの HDMI 入力に接続された CEC 互換の DVD プレーヤー機器との間で電源のオン/オフを同期します。

梱包内容

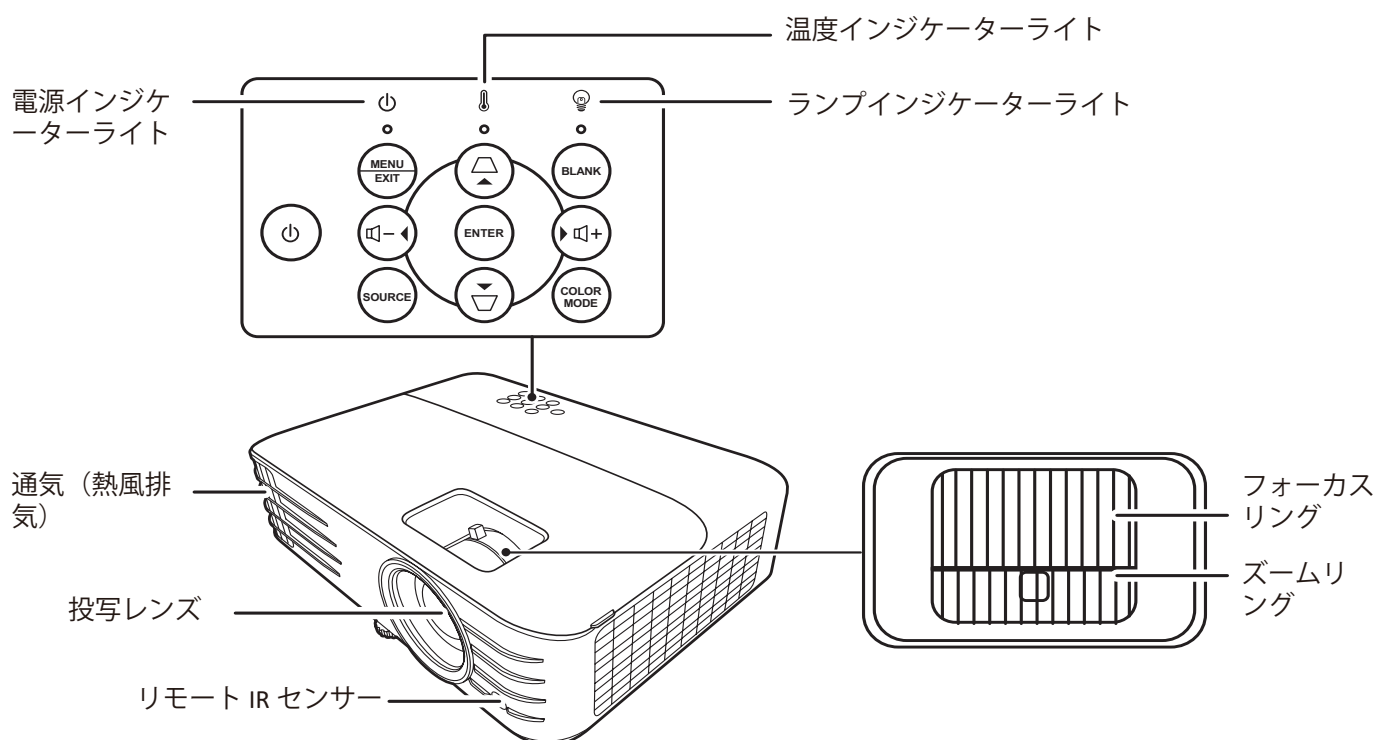
- プロジェクター
- リモコンと電池
- 電源コード
- クイックスタートガイド
- ビデオケーブル

注: 同梱されている電源コードおよびビデオケーブルは、国により形状が異なる場合があります。詳細は、販売店へお問合せください。

概要

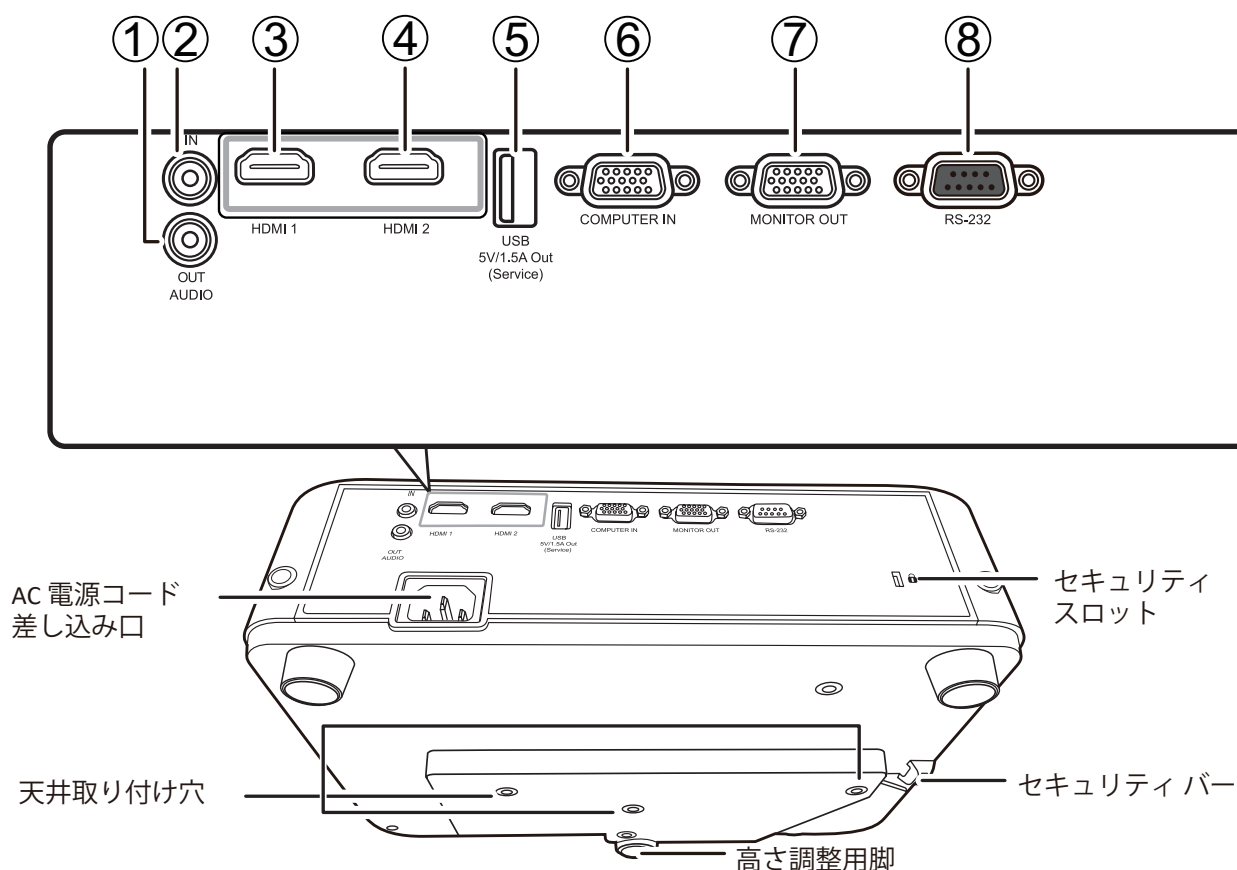
プロジェクター

制御装置および機能



キー	説明
[] 電源	スタンバイモードと電源オンの状態を切り替えます。
[/] 台形補正キー	投写角度によって生じる画像の歪みを手動で修正します。
[///] 左/右/上/下	オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューが有効なとき、メニューアイテムを選択し、調整を行うことができます。
Menu/Exit	オン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューをオン/オフにします。
Source	入力源選択バーを表示します。
Blank	スクリーンの画像を非表示にします。
Enter	OSD メニューが有効なとき、選択した OSD メニューアイテムを有効にします。
[+] 音量を上げる	音量を上げます。
[-] 音量を下げる	音量を下げます。
Color Mode	カラーモード選択バーを表示します。

接続ポート

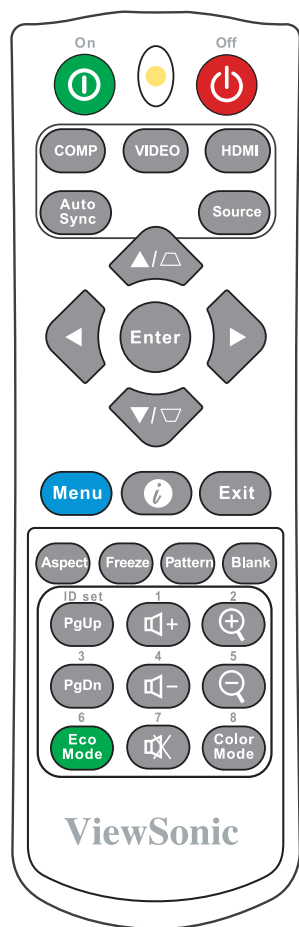


ポート		説明
1	AUDIO OUT	オーディオ信号出力ソケット。
2	AUDIO IN	オーディオ信号入力ソケット。
3	HDMI 1	HDMI ポート。
4	HDMI 2	HDMI ポート。
5	USB 5V/1.5A Out (Service)	電源用 USB Type A ポート。
6	COMPUTER IN ¹	RGB (PC) 信号入力ソケット。
7	MONITOR OUT ¹	RGB (PC) 信号出力ソケット。
8	RS-232	RS-232 制御ポート。

¹ - PX701HDの場合に利用可能

リモコン

制御装置および機能



ボタン	説明
①On/⏻Off	スタンバイモードと電源オンの状態を切り替えます。
COMP ²	表示するソースを COMPUTER IN ポートから選択します。
VIDEO	使用不可。
HDMI	表示するソースを HDMI 1 または HDMI 2 ポートから選択します。このボタンを押すと、順に2つのポートが切り替わります。
Auto Sync	表示画像に最適なタイミングを自動的に決定します。

ボタン	説明
Source	ソース選択バーを表示します。
[◀/▶]台形補正キー	投写角度によって生じる画像の歪みを手動で修正します。
Enter	選択した OSD メニューアイテムを有効にします。
◀左/▶右 ▲上/▼下	メニューアイテムを選択し、調整を行います。
Menu	OSD メニューをオン/オフにします。または、前の OSD メニューに戻ります。
i (情報)	情報 メニューを表示します。
Exit	メニュー設定を保存して終了します。
Aspect	縦横比選択バーを表示します。
Freeze	投写画像を静止します。
Pattern	埋め込みテストパターンを表示します。
Blank	スクリーンの画像を非表示にします。
PgUp (ページを上へ) / PgDn (ページを下へ)	ページを上げる/下げるコマンド (Microsoft PowerPoint など) に応答するディスプレイソフトウェアプログラム (接続した PC で) を操作します。 注: PC 入力信号が選択された場合にのみ使用できます。
Eco Mode	Eco モードを選択します。
🔊+ (音量を上げる)	音量を上げます。
🔊- (音量を下げる)	音量を下げます。
🔊 (ミュート)	本機の音声のオン/オフを切り替えます。
🔍+	投写画像のサイズを拡大します。
🔍-	投写画像のサイズを縮小します。
Color Mode	カラーモード選択バーを表示します。

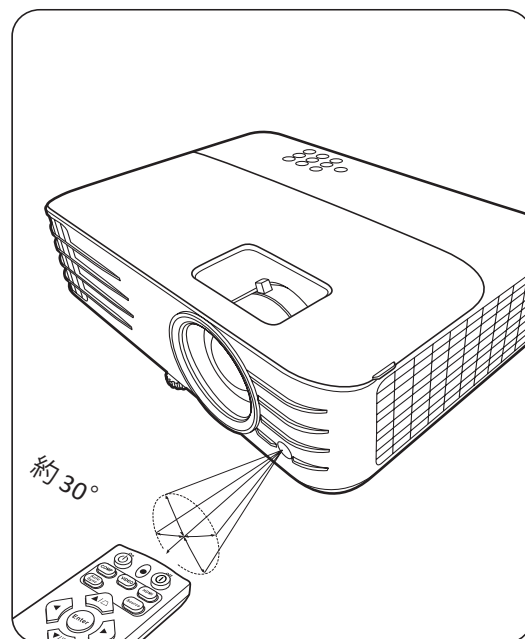
² - PX701HDの場合に利用可能

リモコンの有効範囲

リモコンを確実に操作するためには、次の手順に従ってください。

1. リモコンは本機の IR リモコン センサーに対して垂直に 30° 以内の角度に持たなければ、正しく作動しません。
2. リモコンとセンサーの距離は、8 メートル (26 フィート) 以内でなければなりません。

注：赤外線 (IR) リモコン センターの位置については、図をご覧ください。

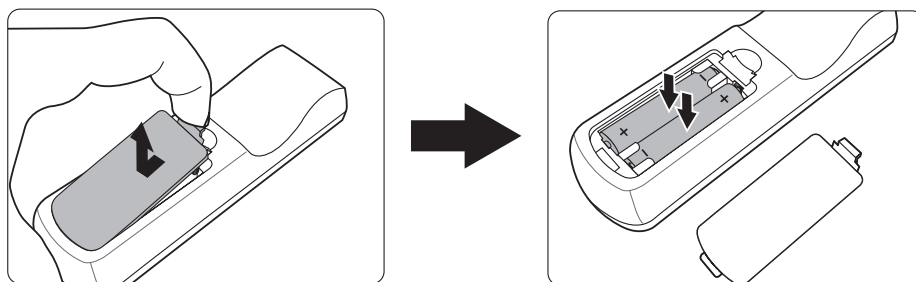


リモコンの電池の交換

1. リモコンの裏面にある窪みを押して電池カバーをスライドさせると、電池カバーが外れます。
2. 古い電池を取り出して (該当する場合)、2 個の AAA (単 4) 電池を挿入します。

注：電池の極性に注意してください。

3. 再びカバーを元に戻してください。



注：

- 熱すぎたり、寒すぎたり、あるいは湿度の高い環境の中に長期間リモコンと電池を放置しないでください。
- 電池メーカーが推奨するものと同じか、または同種の電池以外は使用しないでください。
- また、使用済みの電池は各自治体の回収規則にしたがって廃棄してください。
- 電池を火の中に投げ込まないでください。爆発の危険性があります。
- 電池が完全に消耗してしまったり、またはリモコンを長期間使用しないときには、リモコンのコントロール部分が破損しないように電池は外しておいてください。

> 初期設定

ここでは、本機の設定について説明します。

設置場所の選択

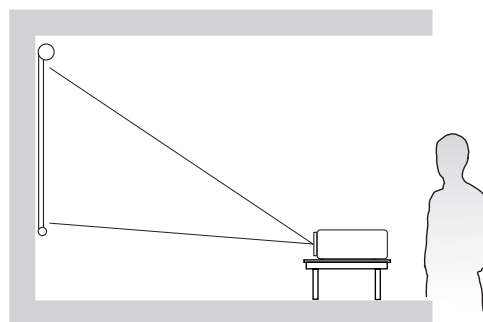
お好みや部屋のレイアウトに応じて設置場所を決めてください。次の点に配慮してください。

- スクリーンのサイズと位置。
- コンセントの位置。
- 本機とその他の機器の間の位置と距離。

本機は次のような設置状態で使うことができます。

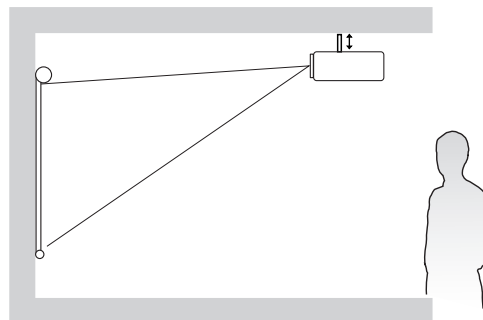
フロント投映

スクリーンの正面に床に近い位置に設置します。



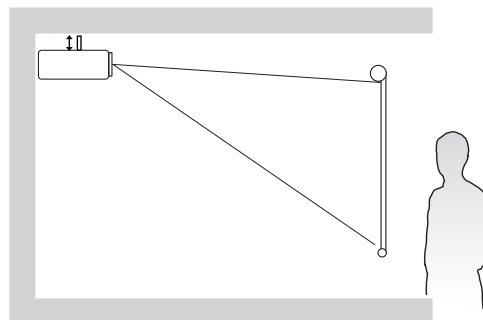
天吊正面

スクリーンの正面に天井から上下逆さに吊り下げて設置します。



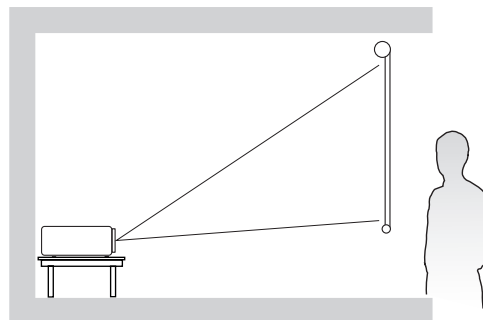
天吊背面¹

スクリーンの背面に天井から上下逆さに吊り下げて設置します。



リア投映¹

スクリーンの背面から床に近い位置に設置します。

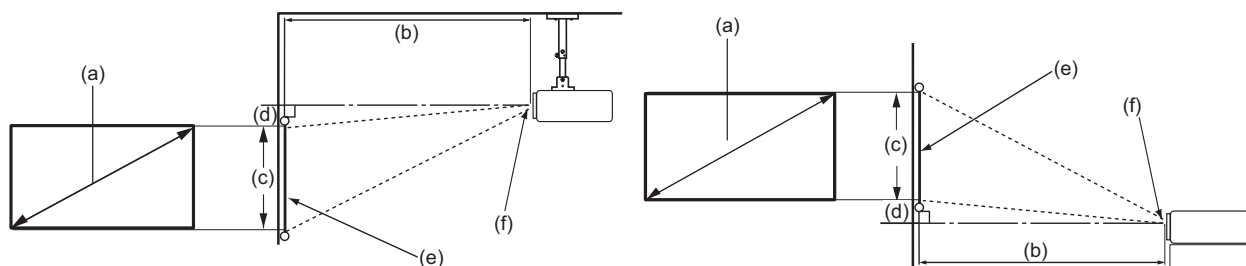


¹ - 専用の背面投写用スクリーンが必要です。

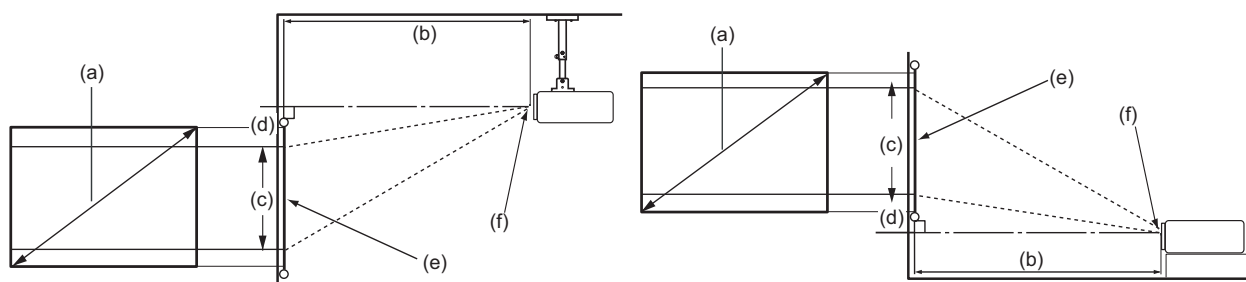
投写サイズ

注：本機のネイティブ解像度については、58ページの「仕様」を参照してください。

• 16:9 スクリーンに 16:9 の画像



• 4:3 スクリーンに 16:9 の画像



注：(e) = スクリーン / (f) = レンズの中心

16:9 スクリーンに 16:9 の画像

(a) スクリーンサイズ		(b) 投写距離				(c) 画像の高さ		(d) 縦オフセット			
		最小		最大				最小		最大	
インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm
60	1524	79	1996	86	2195	29	747	1.5	37.4	1.5	37
70	1778	92	2328	101	2561	34	872	1.7	43.6	1.7	44
80	2032	105	2661	115	2927	39	996	2.0	49.8	2.0	50
90	2286	118	2994	130	3293	44	1121	2.2	56.0	2.2	56
100	2540	131	3326	144	3659	49	1245	2.5	62.3	2.5	62
110	2794	144	3659	158	4025	54	1370	2.7	68.5	2.7	68
120	3048	157	3992	173	4391	59	1494	2.9	74.7	2.9	75
130	3302	170	4324	187	4757	64	1619	3.2	80.9	3.2	81
140	3556	183	4657	202	5123	69	1743	3.4	87.2	3.4	87
150	3810	196	4989	216	5488	74	1868	3.7	93.4	3.7	93
160	4064	210	5322	230	5854	78	1992	3.9	99.6	3.9	100
170	4318	223	5655	245	6220	83	2117	4.2	105.8	4.2	106
180	4572	236	5987	259	6586	88	2241	4.4	112.1	4.4	112
190	4826	249	6320	274	6952	93	2366	4.7	118.3	4.7	118
200	5080	262	6653	288	7318	98	2491	4.9	124.5	4.9	125

4:3 スクリーンに 16:9 の画像

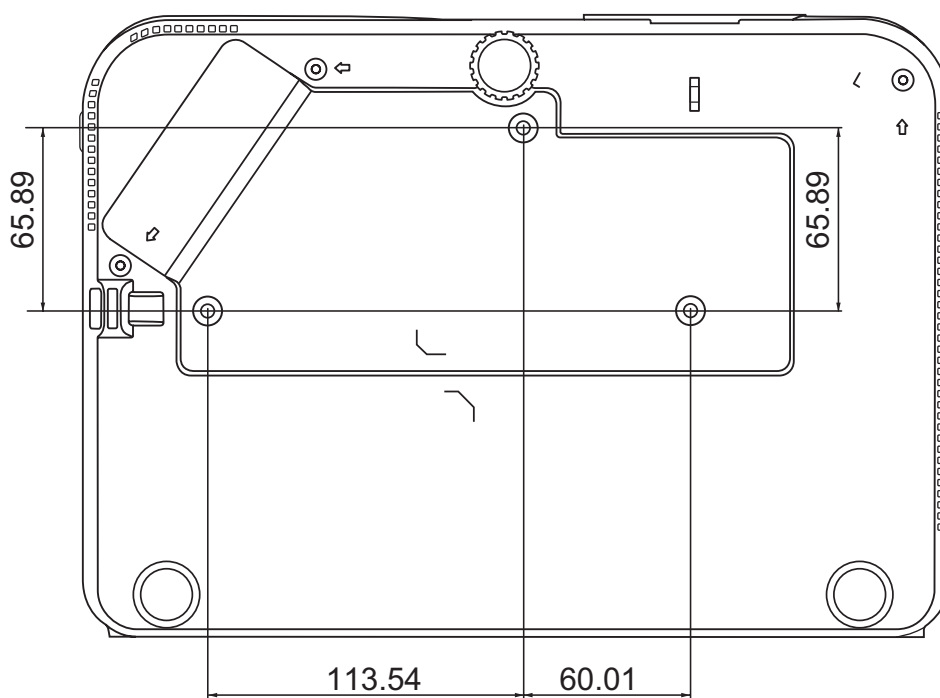
(a) スクリーンサイズ		(b) 投写距離				(c) 画像の高さ		(d) 縦オフセット			
		最小		最大				最小		最大	
インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm
60	1524	72	1832	79	2015	27	686	1.4	34	1.4	34
70	1778	84	2137	93	2351	32	800	1.6	40	1.6	40
80	2032	96	2443	106	2687	36	914	1.8	46	1.8	46
90	2286	108	2748	119	3023	41	1029	2.0	51	2.0	51
100	2540	120	3053	132	3358	45	1143	2.3	57	2.3	57
110	2794	132	3358	145	3694	50	1257	2.5	63	2.5	63
120	3048	144	3664	159	4030	54	1372	2.7	69	2.7	69
130	3302	156	3969	172	4366	59	1486	2.9	74	2.9	74
140	3556	168	4274	185	4702	63	1600	3.2	80	3.2	80
150	3810	180	4580	198	5038	68	1715	3.4	86	3.4	86
160	4064	192	4885	212	5374	72	1829	3.6	91	3.6	91
170	4318	204	5190	225	5709	77	1943	3.8	97	3.8	97
180	4572	216	5496	238	6045	81	2057	4.1	103	4.1	103
190	4826	228	5801	251	6381	86	2172	4.3	109	4.3	109
200	5080	240	6106	264	6717	90	2286	4.5	114	4.5	114

注：光学部品の偏差のため、これらの数字には 3% の公差があります。本機を完全に取り付ける前に、投写サイズと距離を実際にテストしてみることを お勧めします。

プロジェクターの取り付け

注： サードパーティの取り付けキットをご使用になる場合は、正しいサイズのネジをお使いください。ネジサイズは取り付けプレートの厚さによって決まります。

1. 最も安全に設置するためには、ViewSonic® 製壁または天井取り付けキットをお使いください。
2. 本機を取り付けるためのネジは、次の仕様を満たしている必要があります。
 - ネジタイプ：M4 x 8
 - ネジの最大長：8 mm



注：

- 本機を熱源の近くに設置しないでください。
- 天井と床の間は 10 cm 程度の間隙を確保してください。

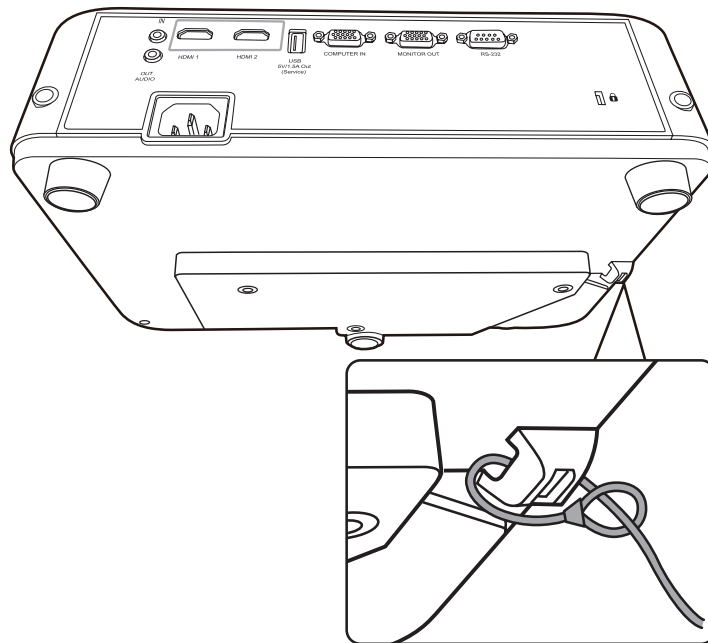
不正使用の禁止

本機には盗難、不正使用、誤設定を防止するための機能がいくつか搭載されています。

セキュリティスロットの使い方

本機を盗難から守るために、本機を動かないものに固定するセキュリティスロットをお使いください。

以下に、製品ロック用セキュリティスロットの設定例を紹介します。



注：本機を天井に取り付けてある場合、セキュリティスロットは安全のための固定機能として使用することができます。

パスワード機能を使う

不正アクセスや不正使用を防止するために、本機にはパスワードオプションが搭載されています。パスワードはオン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューで設定します。

注：パスワードは書き留めておいて、安全な場所に保管しておいてください。

パスワードの設定

1. **Menu** を押して OSD メニューを開き、**システム > セキュリティ設定 > Enter** を選択します。
2. **電源ロック** を選択し、**◀/▶** を押して **オン** を選択します。
3. 右図に示す通り、4 つの矢印キー (▲、▶、▼、◀) はそれぞれ 4 つの数字 (1、2、3、4) を示しています。矢印キーを使って 6 桁のパスワードを設定してください。



4. 新しいパスワードを再度入力して新しいパスワードを確認してください。パスワードの設定が完了すると、オン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューは**セキュリティ設定**ページに戻ります。
5. **Exit** を押すとメニューが閉じます。

注：パスワードを設定した後は、本機を起動する度に正しいパスワードを入力する必要があります。

パスワードの変更

1. **Menu** を押して OSD メニューを開き、**システム > セキュリティ設定 > パスワードの変更**を選択します。
2. **Enter** を押すと、「現在のパスワード」というメッセージが表示されます。
3. 古いパスワードを入力してください。
 - » パスワードが正しければ、「新しいパスワード」というメッセージが表示されます。
 - » パスワードを正しく入力しなければ、5 秒間パスワード エラーメッセージが表示され、続いて「現在のパスワード」というメッセージが表示されます。入力し直してください。キャンセルする場合は、**Exit** を押します。
4. 新しいパスワードを入力します。
5. 新しいパスワードを再度入力して新しいパスワードを確認してください。
6. OSD メニューを終了するには、**Exit** を押します。

注：入力した数字は画面上にはアスタリスク (*) で表示されます。

パスワード機能を無効にする

1. **Menu** を押して OSD メニューを開き、**システム > セキュリティ設定 > 電源ロック**を選択します。
2. **◀/▶** を使って**オフ**を選択します。
3. すると「パスワードの入力」というメッセージが表示されます。現在のパスワードを入力してください。
 - » パスワードが正しく入力された場合は、**電源ロック**の欄が「**オフ**」の状態パスワードページに戻ります。
 - » パスワードを正しく入力しなければ、5 秒間パスワード エラーメッセージが表示され、続いて「現在のパスワード」というメッセージが表示されます。入力し直してください。キャンセルする場合は、**Exit** を押します。

注：古いパスワードは、パスワード機能を再度有効にするときに必要ですので記録しておいてください。

パスワードを忘れた場合

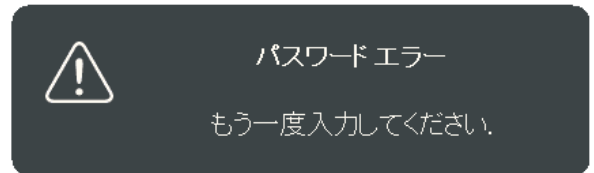
パスワード機能を有効にすると、プロジェクターをオンにするたびに6桁のパスワードを入力するよう要求されます。間違ったパスワードを入力すると、右図のようなパスワードエラーメッセージが5秒間表示され、次に「パスワードの入力」というメッセージが表示されます。

やり直すことができます。パスワードを忘れた場合は、「パスワード呼び出し手順」を行ってください。

注: パスワード入力を続けて5回間違えると、本機は間もなく自動的にシャットダウンします。

パスワード呼び出し手順

1. 「現在のパスワード」というメッセージが表示されたら、3秒間 **Auto Sync** を押し続けてください。スクリーン上にコード化された番号が表示されます。
2. 番号を書き留めて、プロジェクターをオフにしてください。
3. 番号をデコードするには、お近くのサービスセンターにお問い合わせください。お客様がこのプロジェクターを使用できる正当なユーザーであることを確認するために、購入を証明する文書の提示を求められる場合があります。



コントロールキーをロックする

プロジェクターのコントロールキーをロックしておくと、（例えばお子様によって）本機の設定が誤って変更されるのを防止することができます。

注：パネルキーロックがオンになっているときには、本機のコントロールキーは電源を除き、どれも作動しません。

1. **Menu** を押して OSD メニューを開き、**システム > パネルキーロック**を選択します。
2. **▲/▼** を押して**オン**を選択します。
3. **はい**を選択した後で、**Enter** を押して確定します。
4. パネルキーロックを解除するには、本機の **▶** を 3 秒間押します。

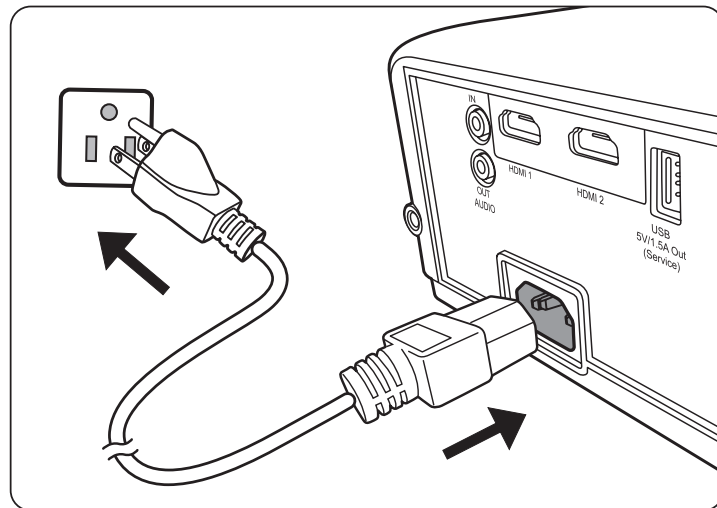
注：リモコンを使って**システム > パネルキーロック**メニューに入り、**オフ**を選択します。

> 接続

ここでは、本機と他の装置の接続方法について説明します。

電源に繋ぐ

1. 本機の背面にある AC IN ジャックに電源コードを接続します。
2. 電源コードのプラグをコンセントに差し込みます。

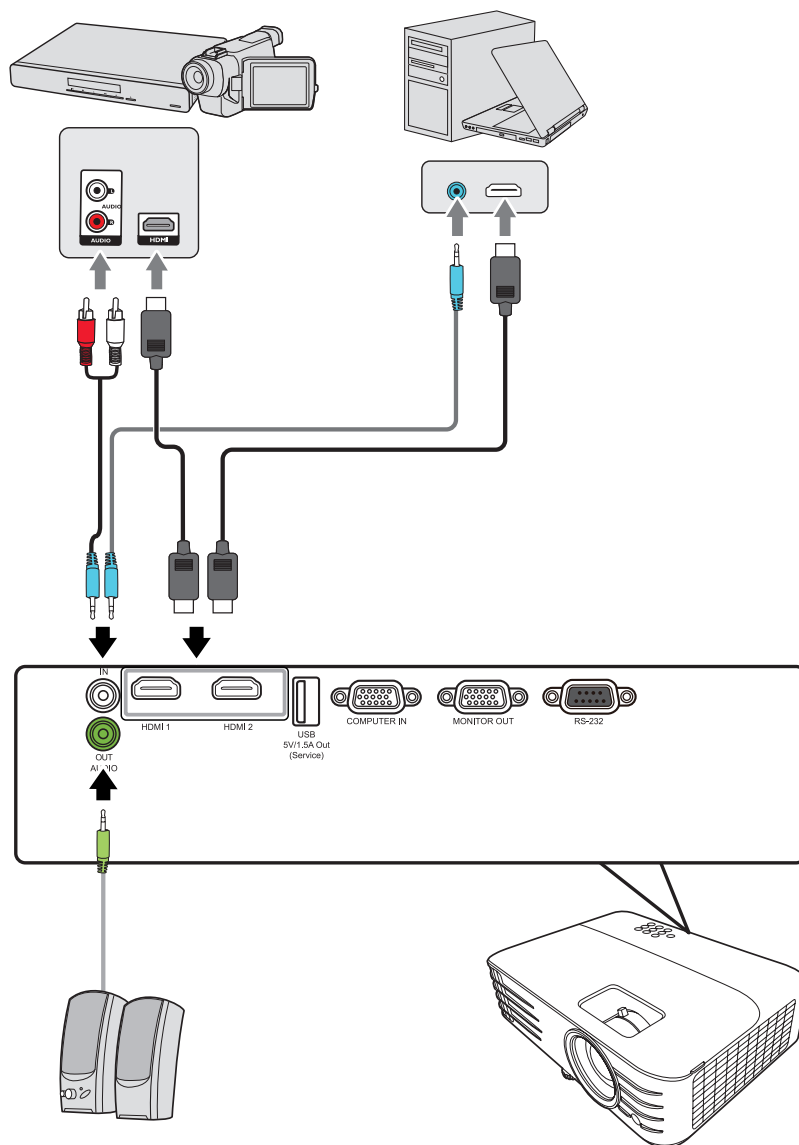


注： 本体を取り付ける際は、プラグが外してあるデバイスを固定配線に接続するか、または本体の近くにあり容易に手の届く場所にあるコンセントに接続してください。本体操作時にエラーが発生した場合は、コンセントから抜いたデバイス进行操作して電源をオフにするか、電源プラグをコンセントから抜いてください。

ビデオ入力源への接続

HDMI 接続

HDMI ケーブルをビデオ機器の HDMI ポートに接続します。ケーブルのもう片端を本機の **HDMI 1** または **HDMI 2** ポートに接続します。



コンピューター入力源への接続

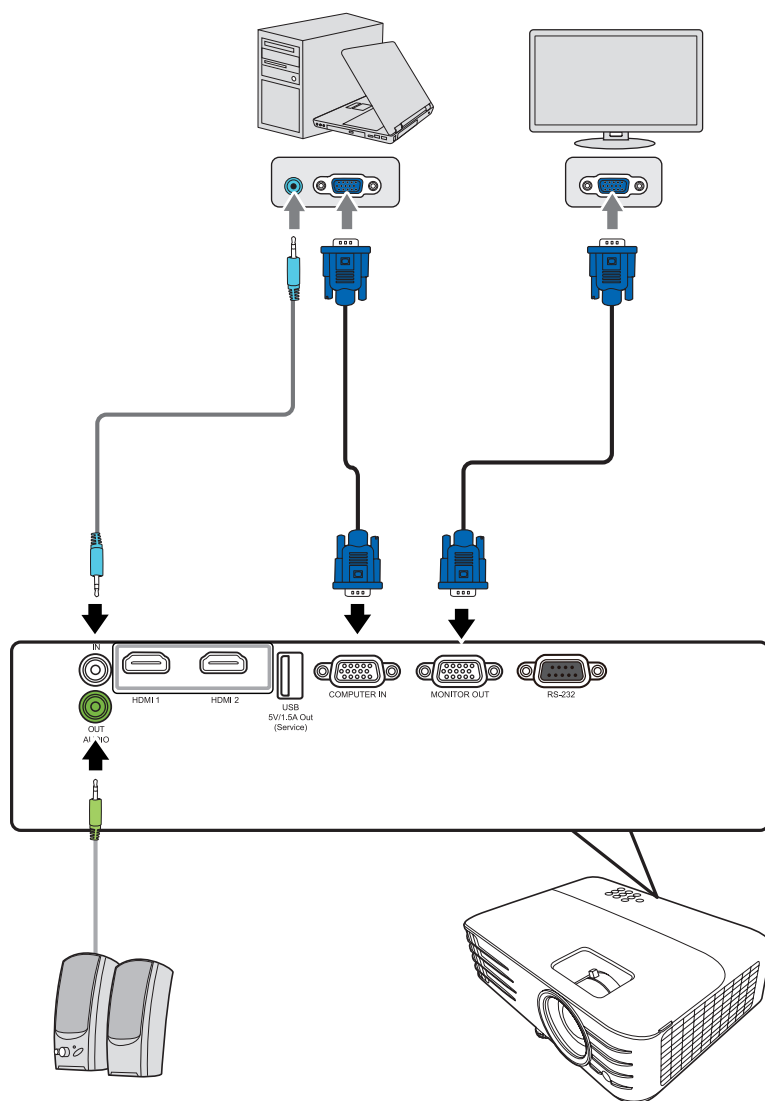
VGA 接続

VGA ケーブルをコンピューターの VGA ポートに接続します。ケーブルのもう片端を本体の **COMPUTER IN** ポートに接続します。

注：一部のノートブックでは、本機に接続したとき外付けディスプレイは自動的にオンになりません。ノートブックの投写設定を調整する必要があります。

VGA 出力接続

VGA 接続を行った後、VGA ケーブルをコンピューターの VGA ポートに接続します。ケーブルのもう片端を本体の **MONITOR OUT** ポートに接続します。



注：PX701HDの場合にVGAとVGA出力が利用可能です。

オーディオ接続

本機にはスピーカーが搭載されていますが、外部スピーカーを本機の **AUDIO OUT** ポートに接続することもできます。

注：オーディオ出力は、本機の**音量**と**ミュート**設定で制御します。

> 操作

プロジェクターの電源をオン/オフにする

プロジェクターの起動

1. 本機の電源を入れるには、**電源**ボタンを押します。
2. ランプが点灯し、「**電源オン/オフ音**」が鳴ります。
3. 本機がオンになると、電源インジケーターが緑色に点灯します。

注:

- 本機が前回使用したときから完全に冷め切っていない場合は、ランプに電力が供給されるまで約 90 秒間冷却ファンが作動します。
 - ランプの寿命を延長するには、本機の電源を入れた後は 5 分間待ってから電源を切ってください。
4. ノートブックなど、接続した装置をオンにすると、本機が起動して入力源の検出を開始します。

注: 本機が入力源を検出すると、ソース選択バーが表示されます。入力源が検出されない場合は、「信号なし」というメッセージが表示されます。

初回アクティベーション

初めて本機を起動する場合は、画面の指示に従って OSD 言語を選択してください。



プロジェクターをシャットダウンする

1. **電源**または **Off** ボタンを押すと、**電源**または **Off** ボタンを再度押すよう促す確認メッセージが表示されます。また、他のボタンをどれでも押すと操作がキャンセルされます。

注：最初に押してから数秒以内に応答しなければ、メッセージは自動的に消えます。

2. 冷却処理が完了したら、「**電源オン/オフ音**」が鳴ります。
3. 長時間本機を使用しない場合は、コンセントから電源コードを抜いてください。

注：

- ランプを保護するため、冷却処理中は本機はコマンドに反応しません。
- 本機のシャットダウンが完了するまでは、電源コードを抜かないでください。

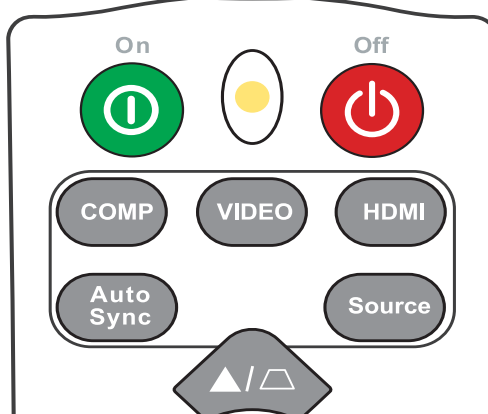
入力源の選択

本機には同時に複数の装置を接続することができます。ただし一度に表示できる装置は1台です。

本機に自動的に入力源を検出させるには、**システムメニュー**で**クイック自動検索**機能が**オン**になっているか確認してください。



また、**入力源**を使用すると、リモコンのソース選択ボタンの1つを押して信号を手動で選択したり、使用可能な入力信号を切り替えることもできます。



入力源を手動で選択するには、次の手順に従ってください。

1. **Source** を押すと、ソース選択メニューが表示されます。
2. 任意の信号が選択されるまで **▲/▼** を押し、次に **Enter** を押します。
3. 信号が検出されたら、選択したソース情報が画面に数秒間表示されます。

注： 本機に複数のデバイスが接続されている場合は、ステップ 1-2 を繰り返すと別の信号を検出することができます。

投写画像の調整

高さと投写角度の調整

本機には高さ調整用脚が 1 個付いています。高さ調整用脚を調節すると、本機の高さと縦投写角度も変わります。投写画像の位置を調整するためには、高さ調整用脚をゆっくりと調整します。

画像の自動調整

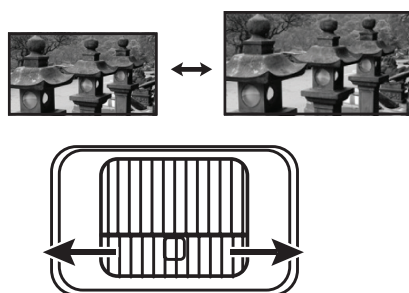
場合によっては、画質を最適化する必要が生じることもあります。これを行うするには、リモコンの **Auto Sync** を押します。組み込みのインテリジェント自動調整機能により周波数およびクロックの値が再調整され、5 秒以内に最適な画質が得られます。

完了したら、現在の入力源情報が左隅に 3 秒間表示されます。

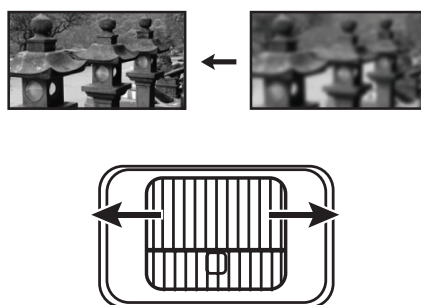
注： この機能は PC D-Sub 入力信号 (アナログ RGB/COMPUTER IN) が選択されている場合にしか使用できません。

画像サイズと明瞭さの微調整

投写されたイメージのサイズを調整するには、ズームリングを使用します。







画像の明瞭さを調整するには、フォーカスリングを使用します。

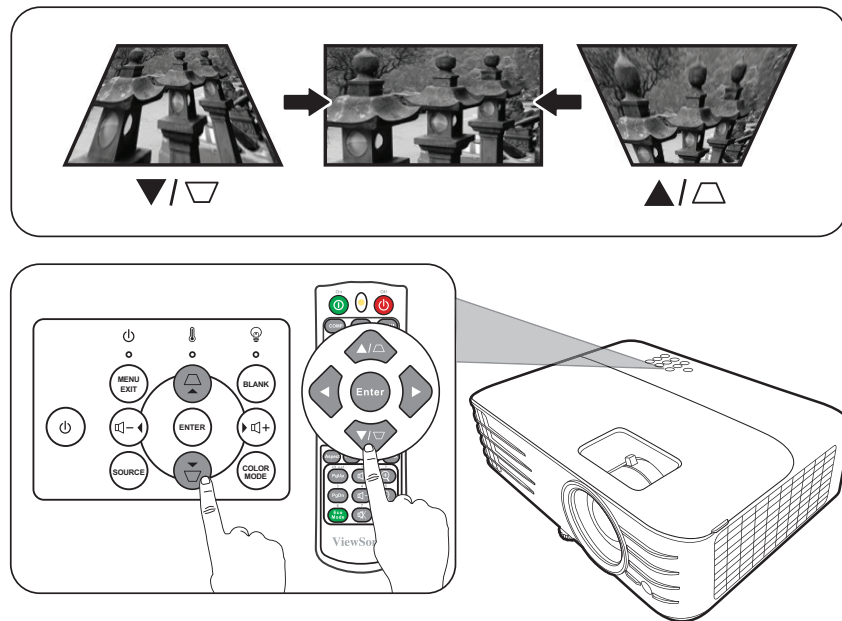


台形補正

台形補正とは、まっすぐに投写されなかったために、投写画像の上部または下部のいずれかが明らかに長くなってしまう状態のことです。

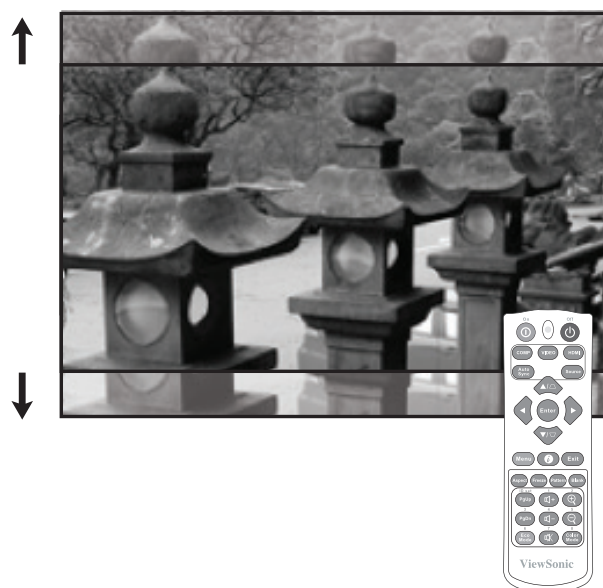
これを修正するには、本機の高さを調整するほか、次のいずれかを行うこともできます。

1. プロジェクターまたはリモコンの台形補正キーを使って台形補正ページを表示します。
2. 台形補正ページが表示されたら、/を押して画像上部の台形歪みを補正します。/を押すと、画像の下部の歪みが補正されます。



投写画像の操作性

リモコンを使用することでレンズを縦方向に +/- 5% シフトできますので、操作者が実際に動いたり、プロジェクターに触れる必要がありません。この機能は、本機を天井に取り付ける場合に特に便利です。



画像を隠す

プロジェクターかリモコンの **Blank** を押すとスクリーンの画像が消えるため、聴衆の関心をすべて講演者に向けることができます。プロジェクターまたはリモコンのキーをどれでも押すと、画像を再開することができます。

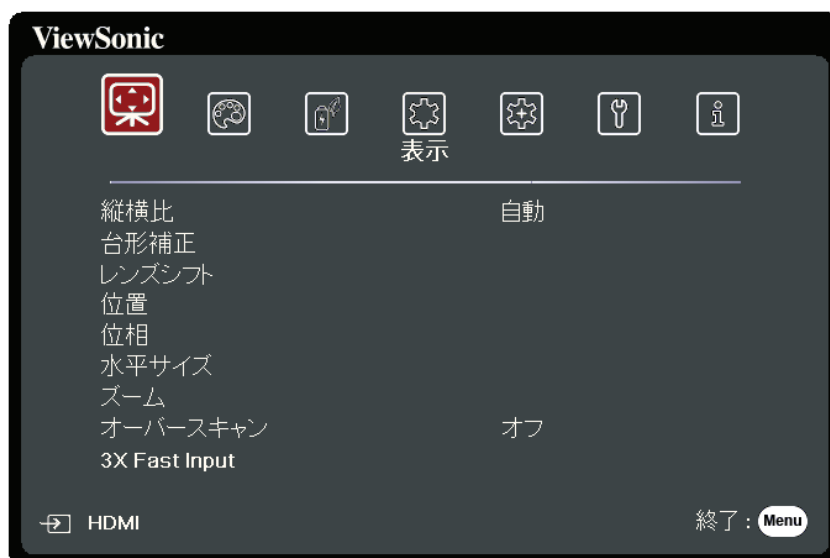
注意： 投写中に投写レンズを他の物体で覆わないでください。その物体が過熱し、火災の原因となり危険です。

> メニュー機能

ここでは、オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューとそのオプションについて説明します。

一般的なオンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューの操作

本機には各種調整や設定が行える、オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューが備わっています。プロジェクターリモコンの **Menu** を押すと表示されます。



1. ◀/▶ を押して、メインメニューを選択します。次に、**Enter** を押すか、▲/▼ を使ってサブメニューリストを開きます。
2. ▲/▼ を押してメニューオプションを選択します。次に、**Enter** を押してそのサブメニューを表示します。または、◀/▶ を押して設定を調整/選択します。

注： サブメニュー オプションの中には、別のサブメニューもあります。それぞれのサブメニューを開くには、**Enter** を押します。設定を調整/選択するには、▲/▼ または ◀/▶ を使います。

オン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニュー構造

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション	
表示	縦横比	自動	
		4:3	
		16:9	
		16:10	
		ネイティブ	
	台形補正	-40~40	
	レンズシフト	-20~20	
	位置 ¹	X: -5 ~ 5、Y: -5 ~ 5	
	位相 ¹	0~31	
	水平サイズ ¹	-15~15	
	ズーム	0.8X ~2.0X	
	オーバースキャン	オフ /1/2/3/4/5	
	3X Fast Input	非アクティブ	
		アクティブ	
画像	カラーモード	最大輝度	
		スポーツ	
		標準	
		ゲーム	
		ムービー	
		ユーザー設定 1	
		ユーザー設定 2	
	輝度	0~100	
	コントラスト	-50~50	
	色温度	8000K/6500K/5500K	
		赤ゲイン	0~100
		緑ゲイン	0~100
		青ゲイン	0~100
		赤オフセット	-50~+50
		緑オフセット	-50~+50
		青オフセット	-50~+50

1 - PX701HDの場合に利用可能

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション	
画像	詳細設定	色 ²	-50~50
		シャープネス	0~31
		Gamma	1.8/2.0/2.2/2.35/ 2.5/Cubic/sRGB
		Brilliantcolor	オフ /1/2/3/4/5/6/ 7/8/9/10
		Noise Reduction	0~31
		カラーマネージ メント	原色
			色相
			彩度
			ゲイン
	カラー設定を リセット	リセット	
		キャンセル	
POWER MANAGEMENT	自動電源オン	信号	無効 /VGA ² /HDMI/ すべて
		CEC	無効 / 有効
		ダイレクト電源 オン	無効 / 有効
	スマートエネル ギー	自動パワーオフ	無効 /10 分 /20 分 / 30 分
		スリープタイマー	無効 /30 分 /1 時間 / 2 時間 /3 時間 /4 時 間 /8 時間 /12 時間
		省電力	無効 / 有効
	スタンバイ設定	VGA ループスルー ²	オフ / オン
		オーディオ パスス ルー	オフ / オン
	クイック電源オフ	無効	
		有効	
	USB A 電源	オン	
		オフ	

² - PX701HDの場合に利用可能

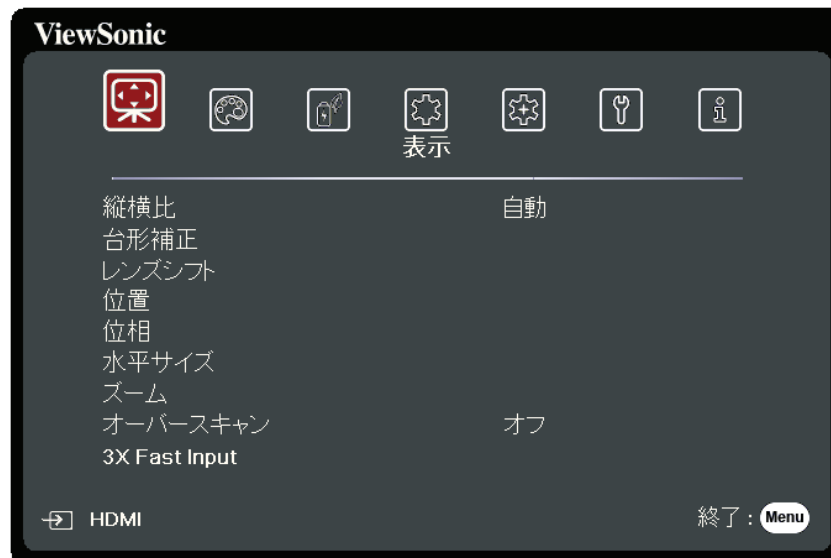
メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション	
基本	オーディオ設定	ミュート	オフ / オン
		オーディオ音量	0~20
		電源オン / オフ音	オフ / オン
	プレゼンテーション タイマー	タイマー間隔	1~240 分
		タイマー表示	常に使用する / 1 分 / 2 分 / 3 分 / 常に使用しない
		タイマーの位置	左上 / 左下 / 右上 / 右下
		タイマーのカウント 方法	減少 / 増加
		サウンドによる通知	オフ / オン
		カウント開始 / オフ	
	パターン	オフ	
		テストカード	
	画面オフタイマー	無効 / 5 分 / 10 分 / 15 分 / 20 分 / 25 分 / 30 分	
	メッセージ	オフ	
		オン	
	スプラッシュ スク リーン	黒	
		青	
ViewSonic			
詳細	3D 設定	3D 同期	自動
			オフ
			フレームシーケン シャル
			フレームパッキン グ
			上 - 下
			横に並べる
		3D 逆同期	無効 / 逆転
		3D 設定を保存	はい / いいえ
	HDMI 設定	HDMI フォーマット	自動 / RGB/YUV
		HDMI 範囲	自動 / 拡張 / ノーマル

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション	
詳細	ランプ設定	ランプモード	ノーマル /Eco/ Dynamic Eco/ SuperEco+
		ランプ時間の リセット	リセット / キャンセル
		ランプ時間情報	ランプ使用時間
			ノーマル
			Eco
			Dynamic Eco
			SuperEco+
		ランプ時間（低）	
設定をリセット	リセット		
	キャンセル		
システム	言語	多言語 OSD 選択	
	プロジェクターの 投写位置	フロント投映	
		リア投映	
		天吊背面	
		天吊正面	
	メニュー設定	メニュー表示時間	5 秒 /10 秒 /15 秒 / 20 秒 /25 秒 /30 秒
		メニュー位置	中央 / 左上 / 右上 / 左下 / 右下
	高地対応モード	オフ	
		オン	
	クイック自動検索	オフ	
		オン	
	セキュリティ設定	パスワードの変更	
電源ロック			

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション	
システム	パネル キー ロック	オフ	
		オン	
	リモコン コード	1/2/3/4/5/6/7/8	
	操作方式	RS-232	
		USB	
	ボーレート	2400/4800/9600/14400/19200/38400/ 57600/115200	
情報	ソース		
	カラーモード		
	解像度		
	カラーシステム		
	ファームウェアバージョン		
	3X Fast Input		
	S/N		

表示メニュー

1. オン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューで **Menu** を押します。
2. ◀/▶ を使って **表示**メニューを選択します。次に、**Enter** を押すか、▲/▼ を使って **表示**を開きます。



3. ▲/▼ を押してメニューオプションを選択します。次に、**Enter** を押してそのサブメニューを表示します。または、◀/▶ を押して設定を調整/選択します。

注: サブメニュー オプションの中には、別のサブメニューもあります。それぞれのサブメニューを開くには、**Enter** を押します。設定を調整/選択するには、▲/▼ または ◀/▶ を使います。

メニューオプション	説明
縦横比	<p><u>自動</u> イメージを本機本来の解像度の水平幅に合わせて表示します。これは入力イメージが 4:3 でも 16:9 でもなく、画像の縦横比を変えずにスクリーンを有効に活用したいときに便利です。</p> <p><u>4:3</u> スクリーンの中央が 4:3 の縦横比になるようにイメージを調整します。これは縦横比を変更せずにすむため、ある種のコンピューターモニター、標準精度の TV、縦横比 4:3 の DVD ムービーなどの 4:3 イメージに適しています。</p> <p><u>16:9</u> スクリーンの中央が 16:9 の縦横比になるようにイメージを調整します。この設定は、縦横比を変更する必要がないため高精度 TV など、すでに縦横比が 16:9 になっているイメージに適しています。</p> <p><u>16:10</u> スクリーンの中央が 16:10 の縦横比になるようにイメージを調整します。これは縦横比を変更する必要のない、縦横比 16:10 の画像に適しています。</p> <p><u>ネイティブ</u> イメージはその本来の解像度で投写され、表示エリアに合わせてリサイズされます。低解像度の入力信号の場合は、投写画像が本来のサイズで表示されます。</p>
台形補正	<p>台形補正とは、まっすぐに投写されなかったために、投写画像の上部または下部のいずれかが明らかに長くなってしまう状態のことです。</p>
レンズシフト	<p>プロジェクターの設置場所を柔軟に選択できます。リモコンを使って、画像を歪ませることなく上下にシフトできます。</p>
位置	<p>投写イメージの位置を調整します。</p> <p>注：</p> <ul style="list-style-type: none"> この機能は PC 入力信号が選択されている場合にしか使用できません。 調整範囲はタイミング毎に異なります。



メニューオプション	説明
位相	<p>画像の歪みを減少させるためにクロック位相を調整します。</p> <p>注：この機能は PC 入力信号が選択されている場合にしか使用できません。</p>
水平サイズ	<p>イメージの幅を調整します。</p> <p>注：この機能は PC 入力信号が選択されている場合にしか使用できません。</p>
ズーム	<p>投写画像を拡大し、画像内をナビゲートできます。</p>
オーバースキャン	<p>オーバースキャン率を 0% から 5% の範囲で調整します。</p> <p>注：この機能はコンポジット ビデオまたは HDMI 入力信号が選択されている場合にしか使用できません。</p>
3X Fast Input	<p>この機能は、フレームレートを下げたいときに有効です。ネイティブタイミングでは応答時間が早くなります。有効にすると、次の設定が初期値に戻されます：縦横比、位置、ズーム、オーバースキャン。</p> <p>注：この機能は、ネイティブのタイミング入力信号が選択されている場合にしか使用できません。</p>

画像メニュー

1. オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューで **Menu** を押します。
2. ◀/▶ を使って **画像**メニューを選択します。次に、**Enter** を押すか、▲/▼ を使って **画像**を開きます。



3. ▲/▼ を押してメニューオプションを選択します。次に、**Enter** を押してそのサブメニューを表示します。または、◀/▶ を押して設定を調整/選択します。
注: サブメニュー オプションの中には、別のサブメニューもあります。それぞれのサブメニューを開くには、**Enter** を押します。設定を調整/選択するには、▲/▼ または ◀/▶ を使います。

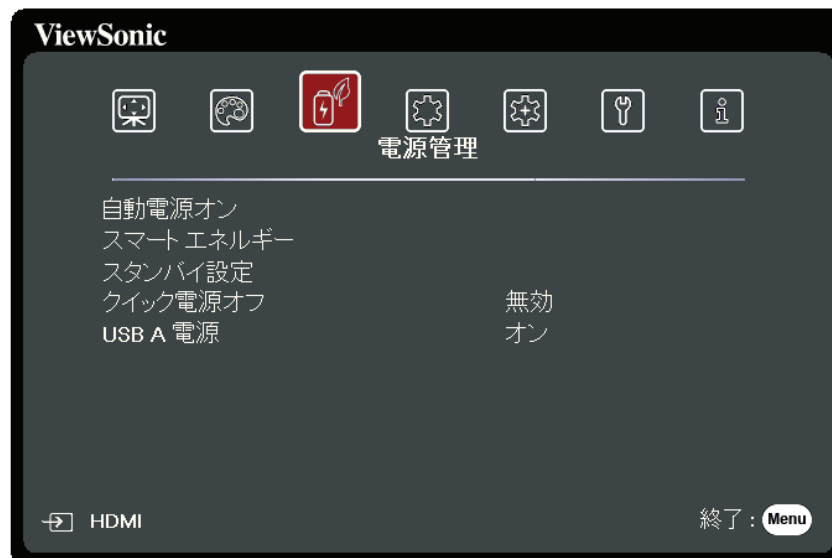
メニューオプション	説明
カラーモード	<p><u>最大輝度</u> 画像の輝度を最大限明るくします。このモードは、輝度を最高に明るくする必要がある環境に適しています（本機を明るい部屋で使用する場合など）。</p> <p><u>スポーツ</u> 明るい照明の中でのスポーツ観戦向けに設計されています。</p> <p><u>標準</u> 日中の標準の環境のときに選択します。</p> <p><u>ゲーム</u> 明るいリビングでビデオゲームを楽しむのに最適です。</p> <p><u>ムービー</u> このモードはやや暗めの部屋で、PC 入力を介してデジタルカメラや DV からカラームービーやビデオクリップを再生するのに適しています。</p> <p><u>ユーザー設定 1 / ユーザー設定 2</u> カスタマイズした設定を呼び出します。 ユーザー設定 1 / ユーザー設定 2 を選択した後は、選択した入力信号に応じて画像メニューの中の一部のサブメニューを調整できるようになります。</p>
輝度	<p>値を高くするほどイメージの輝度が増加します。</p> <p>画像の黒いエリアは純粋な黒として、暗いエリアの詳細はより鮮明に表示するために調整します。</p> <div data-bbox="933 1243 1473 1400">  <div> -30 50 +80 </div> </div>
コントラスト	<p>ピークホワイトレベルを設定する前に、輝度設定を調整しておきます。</p> <div data-bbox="933 1500 1473 1646">  <div> -30 0 +40 </div> </div>

メニューオプション	説明
色温度	<p>8000K 画像を青みがかった白で表示します。</p> <p>6500K 標準の白を維持します。</p> <p>5500K 画像を赤みがかった白で表示します。 カスタム色温度を設定するには、次の項目を調整できます。</p> <p><u>赤ゲイン/緑ゲイン/青ゲイン</u> 赤、緑、青のコントラストレベルを調整します。</p> <p><u>赤オフセット/緑オフセット/青オフセット</u> 赤、緑、青の輝度レベルを調整します。</p>
詳細設定	<p><u>色</u> 設定を下げると、彩度が低くなります。設定が高すぎると、色が濃すぎて非現実的な色になってしまいます。</p> <p><u>シャープネス</u> 値を高くすると画像がよりシャープになり、値を下げると画像はソフトなイメージになります。</p> <p><u>Gamma</u> ガンマとは、本機のグレイスケールレベルの輝度レベルのことです。</p> <p><u>Brilliantcolor</u> この機能は新しい色処理アルゴリズムとシステムレベルでの向上を利用して、投写映像によりリアルで鮮やかな色を提供すると共に、明るさをより高めることができます。ビデオや自然のシーンでよく見られる中間調イメージであれば、50% 以上も輝度を上げることができますので、リアルで自然な色を再現することが可能です。高画質が必要な場合は、必要に応じてレベルを調整してください。</p>

メニューオプション	説明
詳細設定	<p>Noise Reduction 異なるメディアプレーヤによる電気画像ノイズを軽減します。値を高くするほどノイズが少なくなります。 (HDMI 入力信号が選択された場合にのみ使用できます。)</p> <p>カラーマネージメント 重役会議室、レクチャシアター、ホームシアターなど、照明レベルを調整できる場所に設置した場合に限り、カラーマネージメントが必要となります。カラーマネージメントを使用すると、色をより正確に再現するために、より詳細に色を調整することができます。先に原色を選択し、色相、彩度 およびゲインで範囲/値を調整します。</p>
カラー設定をリセット	現在の画像設定を工場出荷時の値に戻します。

電源管理メニュー

1. オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューで **Menu** を押します。
2. ◀/▶ を使って **電源管理**メニューを選択します。次に、**Enter** を押すか、▲/▼ を使って**電源管理**を開きます。



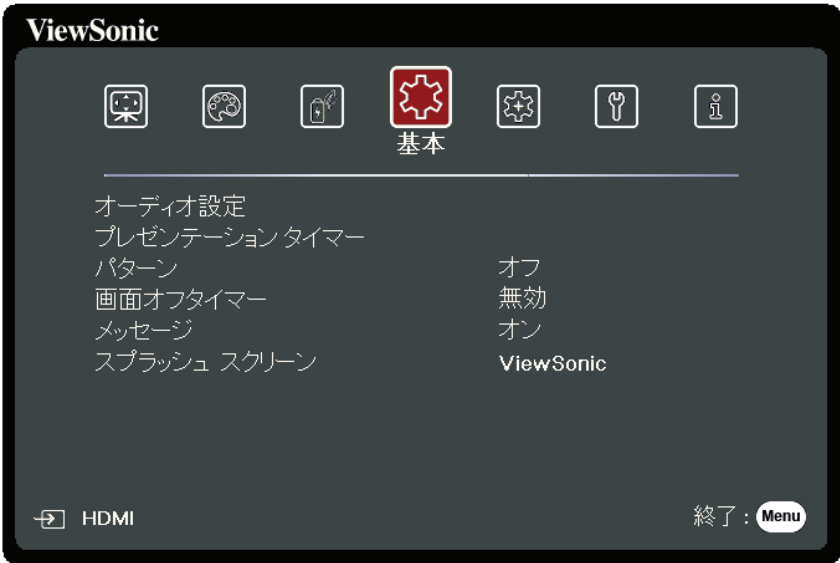
3. ▲/▼ を押してメニューオプションを選択します。次に、**Enter** を押してそのサブメニューを表示します。または、◀/▶ を押して設定を調整/選択します。
注: サブメニュー オプションの中には、別のサブメニューもあります。それぞれのサブメニューを開くには、**Enter** を押します。設定を調整/選択するには、▲/▼ または ◀/▶ を使います。

メニューオプション	説明
自動電源オン	<p><u>信号</u> VGA/HDMI を選択すると、VGA/HDMI ケーブルから VGA/HDMI 信号が入力されると、本機が自動的にオンになります。また、すべてを選択すると、VGA 信号か HDMI 信号を受信すると同時に本機が自動的にオンになります。</p> <p><u>CEC</u> 本機は、HDMI 接続を介して電源のオン/オフ操作を同期できる CEC (Consumer Electronics Control) 機能に対応しています。つまり、CEC 機能に対応しているデバイスが本機の HDMI 入力に接続されていると、本機の電源を切ったときには、接続したデバイスの電源も自動的に切れます。接続してあるデバイスの電源を入れると、本機の電源も自動的に入ります。</p> <p>注:</p> <ul style="list-style-type: none"> • CEC 機能を正常に機能させるには、HDMI ケーブルでデバイスを本機の HDMI 入力に正しく接続すると CEC 機能が有効になります。 • 接続したデバイスによっては、CEC 機能が作動しない場合があります。 <p><u>ダイレクト電源オン</u> 電源コードから電源が供給されると、本機は自動的にオンになります。</p>
スマートエネルギー	<p><u>自動パワーオフ</u> 指定した時間を経過しても入力信号が検出されないときには、不要にランプの寿命を消耗しないように自動的に本機の電源をオフにします。</p> <p><u>スリープタイマー</u> 指定した時間を経過したら、不要にランプの寿命を消耗しないように自動的に本機の電源をオフにします。</p> <p><u>省電力</u> 入力源が検出されなければ、消費電力量は低減されます。有効を選択すると、5 分間信号が検出されなければ本機のランプモードは SuperEco+ モードに変わります。このことは、ランプの寿命を延長するのにも役立ちます。</p>

メニューオプション	説明
スタンバイ設定	<p>以下の機能は、スタンバイモード（接続されているがオンになっていない状態）で 사용할 수 있습니다.</p> <p><u>VGA 루프ス루ー</u> 온을 선택すると、本機はCOMPUTER IN から受信した信号のみ出力します。</p> <p><u>オーディオ パスス루ー</u> 온을 선택すると、AUDIO IN および AUDIO OUT ソケットが正しい機器に接続されている場合に本機はオーディオ信号を出力します。</p>
クイック電源オフ	<p><u>有効</u> シャットダウンした後は、冷却処理は行いません。</p> <p><u>無効</u> シャットダウンした後、通常の冷却処理を行います。</p> <p>注： 本機の電源を切った直後に再起動しようとする、再起動できずに冷却処理が再度実行されます。</p>
USB A 電源	<p>온のとき、USB Type A 포트は電力を供給し、操作方式が自動的にRS-232に切り替わります。</p>

基本メニュー

- 1. オン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューで **Menu** を押します。
- 2. ◀/▶ を使って **基本**メニューを選択します。次に、**Enter** を押すか、▲/▼ を使って **基本**を開きます。



- 3. ▲/▼ を押してメニューオプションを選択します。次に、**Enter** を押してそのサブメニューを表示します。または、◀/▶ を押して設定を調整/選択します。
注: サブメニュー オプションの中には、別のサブメニューもあります。それぞれのサブメニューを開くには、**Enter** を押します。設定を調整/選択するには、▲/▼ または ◀/▶ を使います。

メニューオプション	説明
オーディオ設定	<u>ミュート</u> オンを選択すると、本機の内部スピーカー、またはオーディオ出力端子から出力されるボリュームが一時的にオフになります。 <u>オーディオ音量</u> 本機の内部スピーカーの音量レベル、またはオーディオ出力ジャックから出力される音量を調整します。 <u>電源オン/オフ音</u> 起動時とシャットダウン時のリングトーンをオン/オフにします。

メニューオプション	説明
プレゼンテーション タイマー	<p>プレゼンテーションタイマーはプレゼンテーション時間をスクリーン上に表示して、発表者が上手く時間管理できるようにします。</p> <p><u>タイマー間隔</u> 時間範囲を設定します。すでにタイマーがオンになっている場合は、タイマー間隔をリセットするとタイマーがカウントを新しく開始します。</p> <p><u>タイマー表示</u> 次の時間範囲で画面にタイマーを表示できるようにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> » 常に使用する: プレゼンテーション中、常にタイマーをスクリーン上に表示します。 » 1分/2分/3分: タイマーを最後の1/2/3分間だけ表示します。 » 常に使用しない: プレゼンテーション中、タイマーを表示しません。 <p><u>タイマーの位置</u> タイマーの位置を設定します。</p> <p><u>タイマーのカウント方法</u> カウントする方向を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> » 減少: あらかじめ設定した時間から0までカウントダウンします。 » 増加: 0からあらかじめ設定した時間までカウントを重ねます。 <p><u>サウンドによる通知</u> サウンドによる通知を有効にします。これを選択すると、カウントダウン/アップが残り30秒になるとビーッという音が2回鳴り、タイムアップすると3回鳴ります。</p> <p><u>カウント開始/オフ</u> カウント開始を選択すると、タイマーが有効になります。オフを選択すると、キャンセルします。</p>
パターン	画像サイズとフォーカスを調整し、投写画像の歪みをチェックします。
画面オフ タイマー	<p>消画状態で一定期間無作動の状態が続くと、自動的に画像に戻すことができます。消画状態にするには、プロジェクターかリモコンの Blank を押します。</p> <p>注: 投写中に投写レンズを他の物体で覆わないでください。その物体が過熱し変形したり、火災の原因となり危険です。</p>
メッセージ	「消画」メッセージなどのリマインダーをオン/オフにします。
スプラッシュスクリーン	起動時に表示されるロゴ画面をユーザーが選択することができます。

詳細メニュー

1. オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューで **Menu** を押します。
2. ◀/▶ を使って **詳細** メニューを選択します。次に、**Enter** を押すか、▲/▼ を使って **詳細** を開きます。



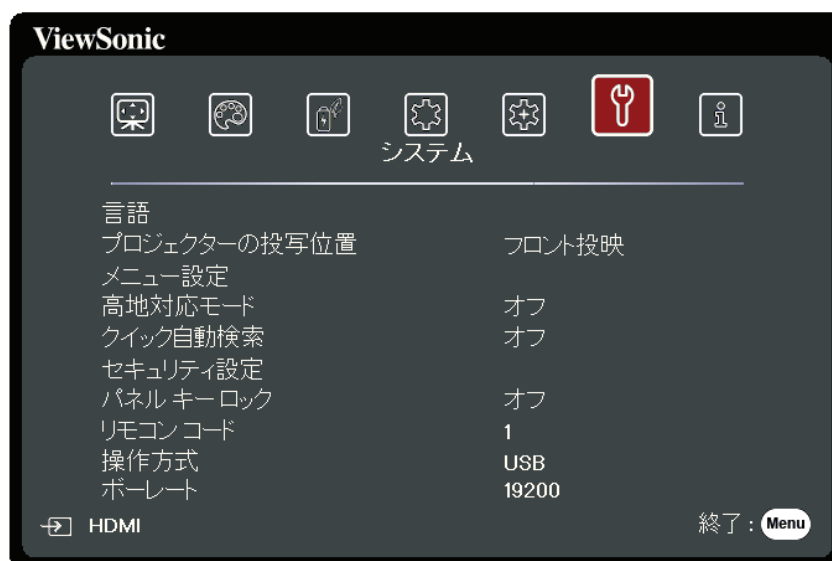
3. ▲/▼ を押してメニューオプションを選択します。次に、**Enter** を押してそのサブメニューを表示します。または、◀/▶ を押して設定を調整/選択します。
注: サブメニュー オプションの中には、別のサブメニューもあります。それぞれのサブメニューを開くには、**Enter** を押します。設定を調整/選択するには、▲/▼ または ◀/▶ を使います。

メニューオプション	説明
3D 設定	<p>本機には、画像に深みを与えることで 3D ムービー、動画、スポーツイベントをよりリアルにご覧いただける 3D 機能が搭載されています。3D 映像をご覧になるには、3D メガネを着用する必要があります。</p> <p><u>3D 同期</u> デフォルト設定は自動で、3D コンテンツが検出された場合は本機が自動的に適切な 3D フォーマットを選択します。本機が 3D フォーマットを識別できない場合は、3D モードを選択してください。</p> <p><u>3D 逆同期</u> 画像の深さが逆転している場合は、この機能を有効にすると問題を解決できます。</p> <p><u>3D 設定を保存</u> 現在の 3D 設定を保存します。同じ解像度と入力源が選択されていれば、3D 設定が自動的に適用されます。</p> <p>注： 3D 同期機能がオンのとき：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 投写画像の輝度レベルが下がります。 ・ カラーモード、ランプモード、ズーム、オーバースキャンは調整できません。
HDMI 設定	<p><u>HDMI フォーマット</u> 接続した出力デバイスのカラースペース設定に基づいて、適切なカラースペースを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> » 自動：入力信号のカラースペース設定が自動的に検出されるように本機を設定します。 » RGB：カラースペースを RGB に設定します。 » YUV：カラースペースを YUV に設定します。 <p><u>HDMI 範囲</u> 接続した出力デバイスの色域設定に基づいて、適切な HDMI 色域を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> » 自動：本機に入力信号の HDMI 範囲を自動的に検出させます。 » 拡張：HDMI カラー範囲を 0 - 255 として設定します。 » ノーマル：HDMI カラー範囲を 16 - 235 として設定します。

メニューオプション	説明
ランプ設定	<p><u>ランプモード</u></p> <ul style="list-style-type: none"> » ノーマル:ランプを完全に明るくします。 » Eco:ランプの電力消費量を 16% 節電し、輝度を下げてランプの寿命を延長し、さらにファンのノイズも低減します。 » Dynamic Eco:コンテンツの輝度レベルによっては、電力消費量を最大 30% 節電できます。 » SuperEco+:ランプの電力消費量を 60% 節電し、輝度を下げてランプの寿命を延長し、さらにファンのノイズも低減します。 <p>注: ランプ温度を調整するには、ランプモードを SuperEco+ に設定すると Eco モードが4時間毎に10分間オンになります。</p> <p><u>ランプ時間のリセット</u></p> <p>新しいランプに交換した後は、ランプタイマーがリセットされます。ランプを交換する場合は、専門のサービス担当者にお問い合わせください。</p> <p><u>ランプ時間情報</u></p> <ul style="list-style-type: none"> » ランプ使用時間: ランプの使用時間数が表示されます。 » ランプ時間 (低): ランプ寿命が表示されます。ランプ時間の計算方式は次のとおりです。合計 (相当) ランプ時間 = 4 x (ノーマルモードでの使用時間) + 2 x (Eco モードでの使用時間) + 1.67 x (Dynamic Eco モードでの使用時間) + 1 x (SuperEco+ モードでの使用時間)
設定をリセット	<p>すべての設定を工場出荷時の値に戻します。</p> <p>設定をリセットを使用すると、次の設定は現在の設定値のまま維持されます: ズーム、台形補正、レンズシフト、言語、プロジェクターの投写位置、高地対応モード、セキュリティ設定、リモコンコード、ボーレート。</p>

システムメニュー

1. オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューで **Menu** を押します。
2. ◀/▶ を使ってシステムメニューを選択します。次に、**Enter** を押すか、▲/▼ を使ってシステムを開きます。



3. ▲/▼ を押してメニューオプションを選択します。次に、**Enter** を押してそのサブメニューを表示します。または、◀/▶ を押して設定を調整/選択します。

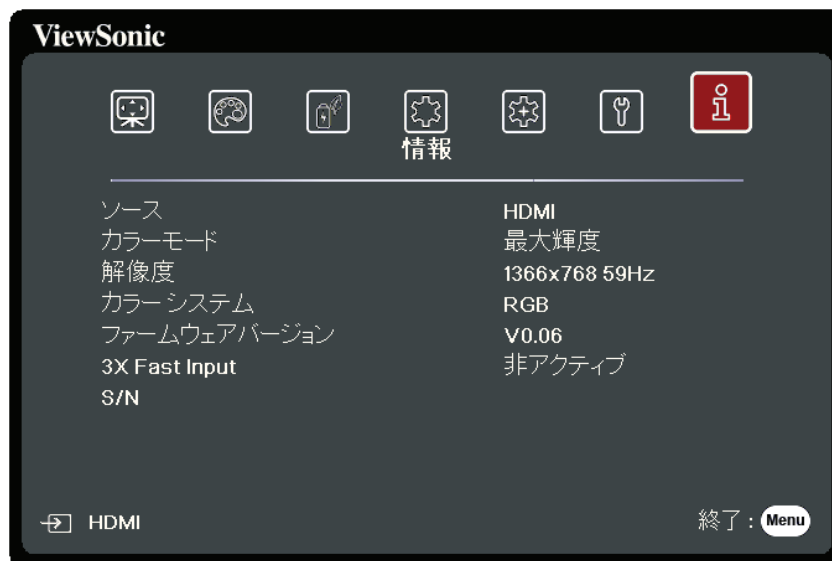
注: サブメニュー オプションの中には、別のサブメニューもあります。それぞれのサブメニューを開くには、**Enter** を押します。設定を調整/選択するには、▲/▼ または ◀/▶ を使います。

メニューオプション	説明
言語	オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューの言語を設定します。
プロジェクターの投写位置	本機の正しい位置を選択します。
メニュー設定	<u>メニュー表示時間</u> 最後に操作が行われてから OSD が表示され続ける時間を設定します。 <u>メニュー位置</u> OSD メニューの位置を選択します。

メニューオプション	説明
高地対応モード	<p>海拔 1,500 m ～ 3000 m、気温 5° C ～ 25° C の環境で本製品を使用する場合は、高地対応モードを使用されるようお勧めします。</p> <p>注：</p> <ul style="list-style-type: none"> 0 から 1,499 m、気温 5°C ～ 35°C の環境では高地対応モードはご使用にならないでください。このような環境で高地対応モードを使用すると、本機が過冷却されてしまいます。 「高地対応モード」では冷却と性能を高めるために、ファンの回転速度が早くなるためノイズが高くなります。
クイック自動検索	本機に信号を自動検出させることができます。
セキュリティ設定	20 ページの「パスワード機能を使う」を参照してください。
パネルキーロック	本機のコントロールキーをロックします。
リモコンコード	本機のリモコンコードを設定します (1~8)。本機が同時に数台接続されている場合は、コードを切り換えると他のリモコンの干渉を受けません。リモコンコードを設定したら、このリモコンと同じ ID に切り換えると本機を操作できます。
操作方式	RS-232 ポートか USB ポートを介して、好きなコントロールポートを選択できます。USB、USB A 電源を選択すると、自動的にオフに切り替わります。
ボーレート	適切な RS-232 ケーブルを使って本機をコンピューターに接続し、RS-232 コマンドで本機を操作できるように、ボーレートはコンピューターと同じ値に設定してください。

情報メニュー

1. オン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューで **Menu** を押します。
2. ◀/▶ を押して**情報**メニューを開くと、その内容が表示されます。



メニューオプション	説明
ソース	現在の縫う力源を表示します。
カラーモード	画像メニューで選択したモードを表示します。
解像度	入力源のネイティブ解像度を表示します。
カラーシステム	入力システムフォーマットを表示します。
ファームウェアバージョン	現在のファームウェア バージョンを表示します
3X Fast Input	機能がアクティブかどうかを表示します。
S/N	本機のシリアル番号を表示します。

> 付録

仕様

アイテム	カテゴリー	仕様	
		PX701HD	PX701HDH
プロジェクター	タイプ	DLP ランプ	
	ディスプレイサイズ	60" ~ 200" (E パターンのとき W : 1.94~6.64 T : 2.13~7.11)	
	輝度 (ルーメン)	3,500 ANSI	
	投写率	1.50~1.65 (95" ± 3% @ 3.16m)	
	レンズ	光学ズーム 1.1x ± 2%	
	ランプのタイプ	OSRAM P-VIP 203/0.8 E30.5	
	ディスプレイ システム	1-CHIP DMD	
入力信号	VGA	f _h : 15K~102KHz、 f _v : 48~120Hz、 ピクセルレー ト : 170MHz	N/A
	HDMI	f _h : 15K~102KHz、 f _v : 23~120Hz、 ピクセルレート : 170MHz	
解像度	ネイティブ	1920 x 1080	
電源アダプター ¹	入力電圧	AC 100-240V、 50/60 Hz (自動切り替え)	
操作条件	温度	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)	
	湿度	0% ~ 90% (結露なきこと)	
	高度	0 ~ 1,499 m (5°C ~ 35°C) 1,500 ~ 3,000 m (5°C ~ 25°C)	
保管条件	温度	-20°C ~ 60°C (結露なきこと)	
	湿度	0% ~ 90% (結露なきこと)	
	高度	0 ~ 1,219 m (-20°C ~ 30°C)	
外形寸法	本体 (W x H x D)	312 x 108.37 x 221.8 mm (12.3" x 4.3" x 8.7")	
重量	本体	3.7 kg (8.16 lbs)	
省エネモード	オン ²	300W (標準)	
	オフ	< 0.5W (スタンバイ)	

¹ ViewSonic® 製または認定されたメーカーのアダプター以外はご使用にならないでください。

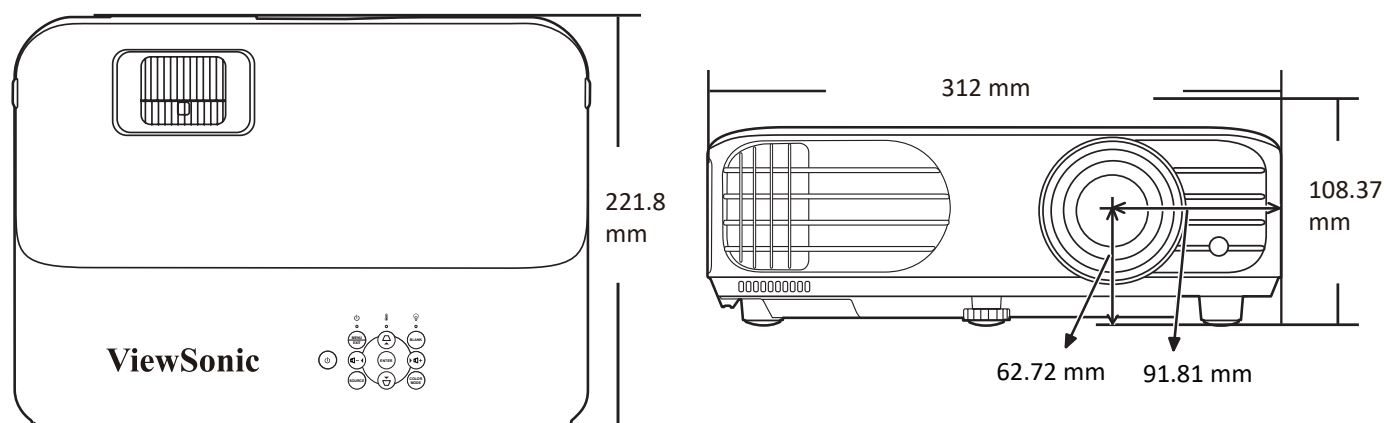
² テスト条件は EEI 基準に準拠しています。



HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interfaceという語、HDMIのトレードドレスおよびHDMIのロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。

本機サイズ

312 mm（幅） x 108.37 mm（高さ） x 221.8 mm（奥行き）



タイミングチャート

アナログ RGB

解像度	モード	リフレッシュレート (Hz)	水平周波数 (KHz)	クロック (MHz)	3D 同期		
					フレームシーケンシャル	上 - 下	横に並べる
720 x 400	720 x 400_70	70.087	31.469	28.3221			
640 x 480	VGA_60	59.94	31.469	25.175	対応	対応	対応
	VGA_72	72.809	37.861	31.5			
	VGA_75	75	37.5	31.5			
	VGA_85	85.008	43.269	36			
800 x 600	SVGA_60	60.317	37.879	40	対応	対応	対応
	SVGA_72	72.188	48.077	50			
	SVGA_75	75	46.875	49.5			
	SVGA_85	85.061	53.674	56.25			
	SVGA_120 (Reduce Blanking)	119.854	77.425	83	対応		
1024 x 768	XGA_60	60.004	48.363	65	対応	対応	対応
	XGA_70	70.069	56.476	75			
	XGA_75	75.029	60.023	78.75			
	XGA_85	84.997	68.667	94.5			
	XGA_120 (Reduce Blanking)	119.989	97.551	115.5	対応		
1152 x 864	1152 x 864_75	75	67.5	108			
1024 x 576	NB タイミング	60	35.82	46.966			
1024 x 600	NB タイミング	64.995	41.467	51.419			
1280 x 720	1280 x 720_60	60	45	74.25	対応	対応	対応

解像度	モード	リフレッシュ レート (Hz)	水平 周波数 (KHz)	クロック (MHz)	3D 同期		
					フレームシーケン シャル	上 - 下	横に並べる
1280 x 768	1280 x 768_60	59.87	47.776	79.5	対応	対応	対応
1280 x 800	WXGA_60	59.81	49.702	83.5	対応	対応	対応
	WXGA_75	74.934	62.795	106.5			
	WXGA_85	84.88	71.554	122.5			
	WXGA_120 (Reduce Blanking)	119.909	101.563	146.25	対応		
1280 x 1024	SXGA_60	60.02	63.981	108		対応	対応
	SXGA_75	75.025	79.976	135			
	SXGA_85	85.024	91.146	157.5			
1280 x 960	1280 x 960_60	60	60	108		対応	対応
	1280 x 960_85	85.002	85.938	148.5			
1360 x 768	1360 x 768_60	60.015	47.712	85.5		対応	対応
1440 x 900	WXGA+_60	59.887	55.935	106.5		対応	対応
1400 x 1050	SXGA+_60	59.978	65.317	121.75		対応	対応
1600 x 1200	UXGA	60	75	162		対応	対応
1680 x 1050	1680x1050_60	59.954	65.29	146.25		対応	対応
640 x 480@67Hz	MAC13	66.667	35	30.24			
832 x 624@75Hz	MAC16	74.546	49.722	57.28			
1024 x 768@75Hz	MAC19	74.93	60.241	80			
1152 x 870@75Hz	MAC21	75.06	68.68	100			
1920 x 1080 (VESA)	1920 x 1080_60	60	67.5	148.5			

HDMI (PC)

解像度	モード	リフレッシュ レート (Hz)	水平 周波数 (KHz)	クロック (MHz)	3D 同期		
					フレームシーケ ンシャル	上 - 下	横に並べる
640 x 480	VGA_60	59.94	31.469	25.175	対応	対応	対応
	VGA_72	72.809	37.861	31.5			
	VGA_75	75	37.5	31.5			
	VGA_85	85.008	43.269	36			
720 x 400	720 x 400_70	70.087	31.469	28.3221			
800 x 600	SVGA_60	60.317	37.879	40	対応	対応	対応
	SVGA_72	72.188	48.077	50			
	SVGA_75	75	46.875	49.5			
	SVGA_85	85.061	53.674	56.25			
	SVGA_120 (Reduce Blanking)	119.854	77.425	83	対応		

解像度	モード	リフレッシュ レート (Hz)	水平 周波数 (KHz)	クロック (MHz)	3D 同期		
					フレームシーケ ンシャル	上 - 下	横に並べる
1024 x 768	XGA_60	60.004	48.363	65	対応	対応	対応
	XGA_70	70.069	56.476	75			
	XGA_75	75.029	60.023	78.75			
	XGA_85	84.997	68.667	94.5			
	XGA_120 (Reduce Blanking)	119.989	97.551	115.5	対応		
1152 x 864	1152 x 864_75	75	67.5	108			
1024 x 576	NB タイミング	60	35.82	46.966			
1024 x 600	NB タイミング	64.995	41.467	51.419			
1280 x 720	1280 x 720_60	60	45	74.25	対応	対応	対応
1280 x 768	1280 x 768_60	59.87	47.776	79.5	対応	対応	対応
1280 x 800	WXGA_60	59.81	49.702	83.5	対応	対応	対応
	WXGA_75	74.934	62.795	106.5			
	WXGA_85	84.88	71.554	122.5			
	WXGA_120 (Reduce Blanking)	119.909	101.563	146.25	対応		
1280 x 1024	SXGA_60	60.02	63.981	108		対応	対応
	SXGA_75	75.025	79.976	135			
	SXGA_85	85.024	91.146	157.5			
1280 x 960	1280 x 960_60	60	60	108		対応	対応
	1280 x 960_85	85.002	85.938	148.5			
1360 x 768	1360 x 768_60	60.015	47.712	85.5		対応	対応
1440 x 900	WXGA+_60	59.887	55.935	106.5		対応	対応
1400 x 1050	SXGA+_60	59.978	65.317	121.75		対応	対応
1600 x 1200	UXGA	60	75	162		対応	対応
1680 x 1050	1680x1050_60	59.954	65.29	146.25		対応	対応
640 x 480@67Hz	MAC13	66.667	35	30.24			
832 x 624@75Hz	MAC16	74.546	49.722	57.28			
1024 x 768@75Hz	MAC19	74.93	60.241	80			
1152 x 870@75Hz	MAC21	75.06	68.68	100			
1920 x 1080 (VESA)	1920 x 1080_60	60	67.5	148.5			

HDMI (ビデオ)

ビデオモード	解像度	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)	ドットクロック周波数 (MHz)	3D 同期			
					フレームシーケンシャル	フレームパッキング	上 - 下	横に並べる
480i	720(1440) x 480	15.73	59.94	27	対応			
480p	720 x 480	31.47	59.94	27	対応		対応	対応
576i	720(1440) x 576	15.63	50	27	対応			
576p	720 x 576	31.25	50	27	対応		対応	対応
720/50p	1280 x 720	37.5	50	74.25		対応	対応	
720/60p	1280 x 720	45	60	74.25		対応	対応	
1080/50i	1920 x 1080	28.13	50	74.25				対応
1080/60i	1920 x 1080	33.75	60	74.25				対応
1080/24P	1920 x 1080	27	24	74.25		対応	対応	
1080/50P	1920 x 1080	56.25	50	148.5			対応	対応
1080/60P	1920 x 1080	67.5	60	148.5			対応	対応

IR 制御表

キー	フォーマット	バイト 1	バイト 2	バイト 3	バイト 4
ⓘ On	NEC-F2	83	F4	4F	B0
⏻ Off	NEC-F2	83	F4	4E	B1
COMP	NEC-F2	83	F4	41	BE
HDMI/HDMI 1	NEC-F2	83	F4	58	A7
HDMI 2	NEC-F2	83	F4	59	A6
Auto Sync	NEC-F2	83	F4	8	F7
Source	NEC-F2	83	F4	40	BF
▲ 上 / ▢	NEC-F2	83	F4	0B	F4
◀ 左	NEC-F2	83	F4	0E	F1
Enter	NEC-F2	83	F4	15	EA
▶ 右	NEC-F2	83	F4	0F	F0
▼ 下 / ▢	NEC-F2	83	F4	0C	F3
Menu	NEC-F2	83	F4	30	CF
ⓘ (情報)	NEC-F2	83	F4	97	68
Exit	NEC-F2	83	F4	28	D7
Aspect	NEC-F2	83	F4	13	EC
Freeze	NEC-F2	83	F4	03	FC

キー	フォーマット	バイト 1	バイト 2	バイト 3	バイト 4
Pattern	NEC-F2	83	F4	55	AA
Blank	NEC-F2	83	F4	7	F8
PgUp	NEC-F2	83	F4	06	F9
PgDn	NEC-F2	83	F4	05	FA
🔇 (ミュート)	NEC-F2	83	F4	14	EB
🔊- (音量を下げる)	NEC-F2	83	F4	83	7C
🔊+ (音量を上げる)	NEC-F2	83	F4	82	7D
🔍+ (ズームイン)	NEC-F2	83	F4	67	98
🔍- (ズームアウト)	NEC-F2	83	F4	68	97
Eco Mode	NEC-F2	83	F4	2B	D4
Color Mode	NEC-F2	83	F4	10	EF

アドレスコード

コード 1	83F4
コード 2	93F4
コード 3	A3F4
コード 4	B3F4
コード 5	C3F4
コード 6	D3F4
コード 7	E3F4
コード 8	F3F4

RS-232 コマンド表

ピン割り当て

ピン	説明	ピン	説明	
1	NC	2	RX	
3	TX	4	NC	
5	GND	6	NC	
7	RTSZ	8	CTSΖ	
9	NC			

インターフェイス

RS-232 プロトコル	
ボーレート	115200 bps (デフォルト)
データ長	8 ビット
パリティ チェック	なし
ストップビット	1 ビット
フロー制御	なし

コマンド表

機能	タイプ	操作	コマンド
電源	書き込み	オン	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x00 0x00 0x5D
電源	書き込み	オフ	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x01 0x00 0x5E
電源	書き込み	オン/オフ	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x34 0x00 0x91
電源	読み取り	状態	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x11 0x00 0x5E
プロジェクターの状態	読み取り	状態	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x11 0x26 0x84
全設定をリセット	書き込み	全設定をリセット	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x02 0x00 0x5F
カラー設定をリセット	書き込み	カラー設定をリセット	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x2A 0x00 0x87
スプラッシュ スクリーン	書き込み	黒	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x0A 0x00 0x67
スプラッシュ スクリーン	書き込み	青	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x0A 0x01 0x68
スプラッシュ スクリーン	書き込み	ViewSonic	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x0A 0x02 0x69
スプラッシュ スクリーン	書き込み	オフ	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x0A 0x04 0x6B
スプラッシュ スクリーン	読み取り	状態	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x11 0x0A 0x68
クイック電源オフ	書き込み	オフ	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x0B 0x00 0x68
クイック電源オフ	書き込み	オン	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x0B 0x01 0x69
クイック電源オフ	読み取り	状態	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x11 0x0B 0x69
高地対応モード	書き込み	オフ	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x0C 0x00 0x69
高地対応モード	書き込み	オン	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x0C 0x01 0x6A

機能	タイプ	操作	コマンド
高地対応モード	読み取り	状態	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x11 0x0C 0x6A
光源モード	書き込み	ノーマル	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x10 0x00 0x6D
ランプモード	書き込み	Eco	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x10 0x01 0x6E
光源モード	書き込み	Dynamic Eco	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x10 0x02 0x6F
光源モード	書き込み	SuperEco+	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x10 0x03 0x70
光源モード	読み取り	状態	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x11 0x10 0x6E
メッセージ	書き込み	オフ	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x27 0x00 0x84
メッセージ	書き込み	オン	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x27 0x01 0x85
メッセージ	読み取り	状態	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x11 0x27 0x85
プロジェクターの投写位置	書き込み	フロント投映	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x00 0x00 0x5E
プロジェクターの投写位置	書き込み	リア投映	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x00 0x01 0x5F
プロジェクターの投写位置	書き込み	天吊背面	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x00 0x02 0x60
プロジェクターの投写位置	書き込み	天吊正面	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x00 0x03 0x61
プロジェクターの投写位置	読み取り	状態	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x12 0x00 0x5F
3D 同期	書き込み	オフ	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x20 0x00 0x7E
3D 同期	書き込み	自動	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x20 0x01 0x7F
3D 同期	書き込み	フレームシーケンシャル	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x20 0x02 0x80
3D 同期	書き込み	フレームパッキング	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x20 0x03 0x81
3D 同期	書き込み	上 - 下	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x20 0x04 0x82
3D 同期	書き込み	サイドバイサイド	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x20 0x05 0x83
3D 同期	読み取り	状態	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x12 0x20 0x7F
3D 逆同期	書き込み	オフ	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x21 0x00 0x7F
3D 逆同期	書き込み	オン	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x21 0x01 0x80
3D 逆同期	読み取り	状態	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x12 0x21 0x80
コントラスト	書き込み	下げる	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x02 0x00 0x60
コントラスト	書き込み	上げる	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x02 0x01 0x61
コントラスト	読み取り	取得値	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x12 0x02 0x61
輝度	書き込み	下げる	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x03 0x00 0x61
輝度	書き込み	上げる	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x03 0x01 0x62
輝度	読み取り	取得値	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x12 0x03 0x62
縦横比	書き込み	自動	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x04 0x00 0x62
縦横比	書き込み	4:3	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x04 0x02 0x64
縦横比	書き込み	16:9	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x04 0x03 0x65
縦横比	書き込み	16:10	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x04 0x04 0x66
縦横比	書き込み	ネイティブ	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x04 0x09 0x6B
縦横比	読み取り	取得値	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x12 0x04 0x63
自動調整	書き込み	実行	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x05 0x00 0x63
水平位置	書き込み	右ヘシフト	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x06 0x01 0x65

機能	タイプ	操作	コマンド
水平位置	書き込み	左ヘシフト	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x06 0x00 0x64
水平位置	読み取り	取得値	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x12 0x06 0x65
垂直位置	書き込み	上ヘシフト	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x07 0x00 0x65
垂直位置	書き込み	下ヘシフト	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x07 0x01 0x66
垂直位置	読み取り	取得値	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x12 0x07 0x66
色温度	書き込み	5500K	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x08 0x00 0x66
色温度	書き込み	6500K	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x08 0x01 0x67
色温度	書き込み	8000K	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x08 0x03 0x69
色温度	読み取り	取得値	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x12 0x08 0x67
消画	書き込み	オン	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x09 0x01 0x68
消画	書き込み	オフ	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x09 0x00 0x67
消画	読み取り	状態	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x12 0x09 0x68
垂直歪み補正	書き込み	下げる	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x0A 0x00 0x68
垂直歪み補正	書き込み	上げる	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x0A 0x01 0x69
垂直歪み補正	読み取り	取得値	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x12 0x0A 0x69
カラーモード	書き込み	最大輝度	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x0B 0x00 0x69
カラーモード	書き込み	ムービー	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x0B 0x01 0x6A
カラーモード	書き込み	標準	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x0B 0x04 0x6D
カラーモード	書き込み	スポーツ	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x0B 0x11 0x7A
カラーモード	書き込み	フォト	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x0B 0x13 0x7C
カラーモード	書き込み	プレゼンテーション	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x0B 0x14 0x7D
カラーモード	書き込み	ゲーム	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x0B 0x12 0x7B
カラーモード	書き込み	サイクル	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x13 0x33 0x00 0x92
カラーモード	読み取り	状態	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x12 0x0B 0x6A
現在の色設定をリセット	書き込み	リセット	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x2A 0x00 0x87
原色	書き込み	R	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x10 0x00 0x6E
原色	書き込み	G	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x10 0x01 0x6F
原色	書き込み	B	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x10 0x02 0x70
原色	書き込み	C	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x10 0x03 0x71
原色	書き込み	M	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x10 0x04 0x72
原色	書き込み	Y	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x10 0x05 0x73
原色	読み取り	状態	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x12 0x10 0x6F
色相/色合い	書き込み	下げる	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x11 0x00 0x6F
色相/色合い	書き込み	上げる	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x11 0x01 0x70
色相/色合い	読み取り	取得値	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x12 0x11 0x70
彩度	書き込み	下げる	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x12 0x00 0x70
彩度	書き込み	上げる	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x12 0x01 0x71
彩度	読み取り	取得値	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x12 0x12 0x71

機能	タイプ	操作	コマンド
ゲイン	書き込み	下げる	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x13 0x00 0x71
ゲイン	書き込み	上げる	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x13 0x01 0x72
ゲイン	読み取り	取得値	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x12 0x13 0x72
シャープネス	書き込み	下げる	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x0E 0x00 0x6C
シャープネス	書き込み	上げる	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x0E 0x01 0x6D
シャープネス	読み取り	取得値	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x12 0x0E 0x6D
フリーズ	書き込み	オン	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x13 0x00 0x01 0x60
フリーズ	書き込み	オフ	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x13 0x00 0x00 0x5F
フリーズ	読み取り	状態	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x13 0x00 0x60
ソース入力	書き込み	D-Sub / Comp.1	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x13 0x01 0x00 0x60
ソース入力	書き込み	HDMI 1	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x13 0x01 0x03 0x63
ソース入力	書き込み	HDMI 2	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x13 0x01 0x07 0x67
ソース入力	書き込み	USB Reader	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x13 0x01 0x1A 0x7A
ソース入力	読み取り	状態	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x13 0x01 0x61
クイック自動検索	書き込み	オン	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x13 0x02 0x01 0x62
クイック自動検索	書き込み	オフ	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x13 0x02 0x00 0x61
クイック自動検索	読み取り	状態	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x13 0x02 0x62
ミュート	書き込み	オン	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x14 0x00 0x01 0x61
ミュート	書き込み	オフ	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x14 0x00 0x00 0x60
ミュート	読み取り	状態	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x14 0x00 0x61
音量	書き込み	上げる	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x14 0x01 0x00 0x61
音量	書き込み	下げる	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x14 0x02 0x00 0x62
音量	書き込み	書き込み値	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x13 0x2A 0x11 0x9A
音量	読み取り	取得値	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x14 0x03 0x64
言語	書き込み	English	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x00 0x61
言語	書き込み	Français	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x01 0x62
言語	書き込み	Deutsch	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x02 0x63
言語	書き込み	Italiano	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x03 0x64
言語	書き込み	Español	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x04 0x65
言語	書き込み	РУССКИЙ	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x05 0x66
言語	書き込み	繁體中文	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x06 0x67
言語	書き込み	简体中文	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x07 0x68
言語	書き込み	日本語	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x08 0x69
言語	書き込み	한국어	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x09 0x6A
言語	書き込み	Svenska	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x0a 0x6B
言語	書き込み	Nederlands	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x0b 0x6C
言語	書き込み	Türkçe	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x0c 0x6D

機能	タイプ	操作	コマンド
言語	書き込み	Čeština	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x0d 0x6E
言語	書き込み	Português	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x0e 0x6F
言語	書き込み	ไทย	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x0f 0x70
言語	書き込み	Polski	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x10 0x71
言語	書き込み	Suomi	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x11 0x72
言語	書き込み	العربية	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x12 0x73
言語	書き込み	Indonesia	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x13 0x74
言語	書き込み	हिंदी	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x14 0x75
言語	書き込み	Tiếng Việt	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x00 0x15 0x76
言語	読み取り	状態	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x15 0x00 0x62
ランプ使用時間	書き込み	ゼロにリセット	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x15 0x01 0x00 0x62
ランプ使用時間	読み取り	使用時間	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x15 0x01 0x63
HDMI フォーマット	書き込み	RGB	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x28 0x00 0x85
HDMI フォーマット	書き込み	YUV	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x28 0x01 0x86
HDMI フォーマット	書き込み	自動	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x28 0x02 0x87
HDMI フォーマット	読み取り	状態	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x11 0x28 0x86
HDMI 範囲	書き込み	拡張	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x29 0x00 0x86
HDMI 範囲	書き込み	ノーマル	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x29 0x01 0x87
HDMI 範囲	書き込み	自動	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x29 0x02 0x88
HDMI 範囲	読み取り	状態	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x11 0x29 0x87
CEC	書き込み	オフ	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x2B 0x00 0x88
CEC	書き込み	オン	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x2B 0x01 0x89
CEC	読み取り	状態	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x11 0x2B 0x89
エラーの状態	読み取り	状態	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x0C 0x0D 0x66
Brilliant Color	書き込み	オフ	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x0F 0x00 0x6D
Brilliant Color	書き込み	色 1	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x0F 0x01 0x6E
Brilliant Color	書き込み	色 2	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x0F 0x02 0x6F
Brilliant Color	書き込み	色 3	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x0F 0x03 0x70
Brilliant Color	書き込み	色 4	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x0F 0x04 0x71
Brilliant Color	書き込み	色 5	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x0F 0x05 0x72
Brilliant Color	書き込み	色 6	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x0F 0x06 0x73
Brilliant Color	書き込み	色 7	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x0F 0x07 0x74
Brilliant Color	書き込み	色 8	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x0F 0x08 0x75
Brilliant Color	書き込み	色 9	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x0F 0x09 0x76
Brilliant Color	書き込み	色 10	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x12 0x0F 0x0A 0x77
Brilliant Color	読み取り	状態	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x12 0x0F 0x6E
リモコン コード	書き込み	コード 1	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x0C 0x48 0x00 0xA0

機能	タイプ	操作	コマンド
リモコンコード	書き込み	コード 2	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x0C 0x48 0x01 0xA1
リモコンコード	書き込み	コード 3	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x0C 0x48 0x02 0xA2
リモコンコード	書き込み	コード 4	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x0C 0x48 0x03 0xA3
リモコンコード	書き込み	コード 5	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x0C 0x48 0x04 0xA4
リモコンコード	書き込み	コード 6	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x0C 0x48 0x05 0xA5
リモコンコード	書き込み	コード 7	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x0C 0x48 0x06 0xA6
リモコンコード	書き込み	コード 8	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x0C 0x48 0x07 0xA7
リモコンコード	読み取り	状態	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x0C 0x48 0xA1
スクリーンの色	書き込み	オフ	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x32 0x00 0x8F
オーバースキャン	書き込み	オフ	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x33 0x00 0x90
オーバースキャン	書き込み	値 1	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x33 0x01 0x91
オーバースキャン	書き込み	値 2	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x33 0x02 0x92
オーバースキャン	書き込み	値 3	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x33 0x03 0x93
オーバースキャン	書き込み	値 4	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x33 0x04 0x94
オーバースキャン	書き込み	値 5	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x11 0x33 0x05 0x95
オーバースキャン	読み取り	取得値	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x11 0x33 0x91
リモートキー	書き込み	メニュー	0x02 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x02 0x04 0x0F 0x61
リモートキー	書き込み	終了	0x02 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x02 0x04 0x13 0x65
リモートキー	書き込み	上	0x02 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x02 0x04 0x0B 0x5D
リモートキー	書き込み	下	0x02 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x02 0x04 0x0C 0x5E
リモートキー	書き込み	左	0x02 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x02 0x04 0x0D 0x5F
リモートキー	書き込み	右	0x02 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x02 0x04 0x0E 0x60
リモートキー	書き込み	ソース	0x02 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x02 0x04 0x04 0x56
リモートキー	書き込み	入力	0x02 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x02 0x04 0x15 0x67
リモートキー	書き込み	自動	0x02 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x02 0x04 0x08 0x5A
リモートキー	書き込み	マイボタン	0x02 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x02 0x04 0x11 0x63
動作温度範囲	読み取り	取得値	0x07 0x14 0x00 0x05 0x00 0x34 0x00 0x00 0x15 0x03 0x65
ランプモード サイクル	書き込み	ランプモード サイクル	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x13 0x36 0x00 0x95
オーディオモード サイクル	書き込み	オーディオモード サイクル	0x06 0x14 0x00 0x04 0x00 0x34 0x13 0x35 0x00 0x94

用語集

ここでは、プロジェクターで使用される一般的な用語について説明します。アルファベット順に記載されています。

注：一部の用語は、お使いのモデルに該当しない場合があります。

A 縦横比
イメージの幅と高さの比率のことです。

Auto Sync

最高の画質を実現するために周波数とクロック値を再調整する内蔵型インテリジェント自動調整機能です。

B Blank
参加者の注意を引き付けるために、一時的に映像を消す機能です。

最大輝度 モード

画像の輝度を最大限明るくします。このモードは、輝度を最高に明るくする必要がある環境に適しています（プロジェクターを明るい部屋で使用する場合など）。

輝度

映像の輝度レベルを調整します。

C CEC（家電制御）
HDMI 接続を介して電源オン/オフ操作を同期します。つまり、CEC 機能に対応しているデバイスがプロジェクターの HDMI 入力に接続されていると、プロジェクターの電源を切ったときには、接続したデバイスの電源も自動的に切れます。接続してあるデバイスの電源を入れると、プロジェクターの電源も自動的に入ります。

色

彩度を調整します。

色温度

特定の色温度値を選択することで、表示体験をカスタマイズできます。

本機のデフォルト	本機の本来の状態
8000K	画像を青みがかった白で表示します。
6500K	デフォルトの色温度です。標準の白を維持します。一般的な使用にお勧めです。
5500K	画像を赤みがかった白で表示します。

C **コントラスト**
画像の背景（黒レベル）と前景（白レベル）の違いを調整します。

カラーモード

本機には操作、環境、入力源に合わせてあらかじめ定義した色モードが設定されています。

F **フォーカスリング**
画像の鮮明さを手動で調整します。

G **Gamma**
プロジェクターのグレイスケール曲線を手動で選択できます。

H **HDMI範囲**
検出した信号タイプに応じて HDMI グレイスケール範囲を 0~255（拡張範囲）、16~235（標準範囲）、または自動から選択できます。



高地対応モード

高度 1,500 m から 3,000 m、温度 5°C から 25°C の場所に住む方のためのオプションモードです。これを有効にすると、プロジェクターの冷却と性能が向上します。

I **情報**
タイミングモード（映像信号入力）、プロジェクターの型番、シリアル番号、ViewSonic® ホームページの URL が表示されます。

入力選択

プロジェクターに合った入力オプションが順番に切り替わります。

K **台形補正**
平坦でない面に投写したことで生じた画像の歪みです。[/

L ランプ設定
「ランプ時間情報」を表示したり、「ランプモード」を調整すると、ランプ情報と設定を表示したり、調整したりすることができます。

レンズシフト
「レンズシフト」メニューで調整すると、本機のレンズを縦にシフトできます。

M ムービーモード
カラフルな映像やデジタルカメラのビデオクリップ、PC 入力からの DV を再生するのに適したカラーモードです。照明のくらい場所に適したモードです。

O オーバースキャン
モニター画面でクロップした画像のことです。ムービーコンテンツにズームインするため、フィルムの端が見えません。

P パターン
画像調整や微調整に役に立つグリッドが表示されます。

プロジェクターの投写位置
天井や背面投写など、プロジェクターの設置場所に応じて投写画像を調整できます。

R RS-232
データのシリアル転送の標準コードです。シリアルポートや LAN ポートを使って他の機器やコントローラに接続するときに使用します。

S シャープネス
画質を調整します。

標準モード
日中の通常的环境用のカラーモードです。

Z ズームリング
投写した画像のサイズを手動で調整します。

トラブルシューティング

一般的な問題

ここでは、プロジェクターに関連する一般的に見られる問題について説明します。

問題	対策
プロジェクターの電源がオンにならない	<ul style="list-style-type: none">電源コードが正しくプロジェクターとコンセントに接続されているか確認してください。冷却処理が完了していない場合は、冷却処理が完了してから電源を入れなおしてください。それでも電源がオンにならない場合は、別のコンセントに接続してみるか、同じコンセントに別の電子機器を接続してみてください。
画像が映らない	<ul style="list-style-type: none">ビデオケーブルが正しく接続され、ビデオ入力源がオンになっているか確認してください。入力源が自動的に選択されない場合は、プロジェクターかリモコンの Source キーを使って正しい入力源を選択してください。
画像がぼける	<ul style="list-style-type: none">フォーカスリングを使用すると、投写レンズを正確に調整できます。プロジェクターとスクリーンを正しく揃えて設置してください。必要であれば、プロジェクターの高さと投写角度および方向も調整してください。
リモコンが機能しない	<ul style="list-style-type: none">リモコンとプロジェクターの間に障害物がないことを確認し、リモコンからプロジェクターまでの距離は8メートル以内であることを確認してください。電池が切れているかもしれません。確認の上、必要であれば交換してください。

LED インジケーター

ライト			状態と説明
			
電源			
緑に点滅	オフ	オフ	スタンバイモード。
緑	オフ	オフ	電源を入れています。
緑	オフ	オフ	通常動作状態です。
緑に点滅	オフ	オフ	通常の電源オフ冷却プロセスです。
赤	オフ	オフ	ダウンロード中。
緑	緑	緑	書き込みオフ。
ランプ			
緑に点滅	オフ	赤	冷却時の第一光源点灯エラー。
オフ	オフ	赤	通常動作時に光源エラー発生。
緑	オフ	赤	カラーホイールを開始できません。
加熱/冷却			
オフ	赤	オフ	ファン1エラー（実際のファン速度が適正速度をオーバー）。
オフ	赤	赤	ファン2エラー（実際のファン速度が適正速度をオーバー）。
オフ	赤	緑	ファン3エラー（実際のファン速度が適正速度をオーバー）。
オフ	赤	オレンジ色	ファン4エラー（実際のファン速度が適正速度をオーバー）。
赤に点滅	赤	オフ	ファン5エラー（実際のファン速度が適正速度をオーバー）。
赤に点滅	赤に点滅	オフ	ファン6エラー（実際のファン速度が適正速度をオーバー）。
赤	赤	赤	熱センサー1開エラー（リモートダイオードが開回路状態です）。
赤	赤	緑	熱センサー2開エラー（リモートダイオードが開回路状態です）。
緑	赤	赤	熱センサー1ショートエラー（リモートダイオードが開回路状態です）。
オフ	赤	緑	熱センサー2ショートエラー（リモートダイオードが開回路状態です）。
オレンジ色	赤	赤	温度1エラー（上限温度オーバー）。
オレンジ色	赤	緑	温度2エラー（上限温度オーバー）。
オフ	緑	赤	ファンIC #1 I2C 接続エラー。

メンテナンス

全般的な注意

- プロジェクターの電源が切っており、コンセントから外してあることを確認してください。
- プロジェクターのパーツは絶対に取り外さないでください。プロジェクターのパーツの交換が必要な場合は、ViewSonic® または販売店にご相談ください。
- ケースにスプレーを吹き付けたり、液体を直接かけたりしないでください。
- プロジェクターの取り扱いにはご注意ください。暗い色のプロジェクターについた傷は、明るい色のプロジェクターよりも目立ちます。

レンズのお手入れ

- 圧縮空気スプレーを使ってほこりを取り除いてください。
- 汚れやしみが落ちない場合は、レンズ クリーニング ペーパーまたはレンズ クリーナーで湿らせた柔らかい布でレンズの表面を軽く拭きます。

注意：研磨剤でレンズをこすらないでください。

ケースのお手入れ

- 汚れやホコリは柔らかく、毛羽立ちのない乾いた布で拭き取ってください。
- それでも汚れが落ちない場合は、非アンモニア系、非アルコール系の研磨剤を含まない中性洗剤を清潔な毛羽立ちのない布に取り拭き取ってください。

注意：ワックス、アルコール、ベンジン、シンナー、その他の化学洗剤は使用しないでください。

プロジェクターの保管

長期間プロジェクターを保管する必要がある場合は、次の手順に従ってください。

- 保管場所の温度と湿度が推奨範囲内であることを確認します。
- 高さ調整用脚を完全におさめます。
- リモコンから電池を取り外します。
- プロジェクターを元の梱包または同等の梱包にしまいます。

おことわり

- ViewSonic® は、レンズやケースにアンモニア系またはアルコール系のクリーナーをご使用になることはお勧めしません。化学クリーナーによっては、レンズやケースが破損する場合がありますと報告されています。
- ViewSonic® は、アンモニア系またはアルコール系のクリーナーを使用した結果生じた故障については一切責任を負いません。

ランプ情報

ここでは、プロジェクターのランプについて説明します。

ランプ時間

プロジェクターが作動している間、プロジェクターに内蔵されたタイマーがランプの使用時間（時間単位）を自動的に計算します。

ランプ時間を確認する：

1. **Menu** を押して OSD メニューを開き、**詳細設定 > ランプ設定 > ランプ時間情報** を選択します。
2. **Enter** を押すと、**ランプ時間情報** ページが開きます。
3. **Exit** を押すとメニューが閉じます。

ランプ寿命を延長する

ランプの寿命をできるだけ長く維持するには、OSD メニューで次の設定を行ってください。

ランプモードを設定

プロジェクターを **Eco**、**Dynamic Eco**、**SuperEco+** モードにすると、システムノイズ、電力消費量を低減し、ランプの寿命を延長できます。

ランプモード	説明
ノーマル	ランプを完全に明るくします。
Eco	ランプの電力消費量を 16% 節電し、輝度を下げて、さらにファンのノイズも低減します。
Dynamic Eco	コンテンツの輝度レベルによっては、電力消費量を最大 30% 節電できます。
SuperEco+	ランプの電力消費量を 60% 節電し、輝度を下げてランプの寿命を延長し、さらにファンのノイズも低減します。

ランプモードを設定するには、OSD メニューを開き、**詳細設定 > ランプ設定 > ランプモード** を選択します。次に、◀/▶ を押して選択し、**Enter** を押します。

自動パワーオフを設定

指定した時間を経過しても入力信号が検出されないときには、自動的にプロジェクターの電源をオフにします。

OSD メニューを開き、**電源管理 > スマートエネルギー > 自動パワーオフ** を選択します。次に、◀/▶ を押して時間を無効にするか、調整します。

ランプの交換タイミング

ランプインジケータライトが点灯したら、新しいランプに交換するか、販売店にお問合せください。

注意：古いランプを使用すると、プロジェクターの誤動作の原因となり、ランプが破裂することもあります。

ランプの交換

注：ランプを交換する場合は、一旦電源を切り、コンセントからプロジェクターを外した上で、専門の補修担当者にお問合せください。

> 規制および補修情報

コンプライアンス情報

ここでは、関連する要件や規制に関する声明について説明します。正確な用途は、ネームプレートのラベルおよび本体に表記されるマーク等をご確認ください。

FCC 準拠宣言

本製品は、FCC 規定の第 15 条に準拠しています。操作は次の 2 つの条件に規定されます。(1) 電波障害を起こさないこと (2) 誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。この装置は、FCC 規定の第 15 条に準じ、クラス B デジタル機器の制限に従っています。

これらの制限は家庭内設置において障害を防ぐために設けられています。本装置は高周波エネルギーを生成および使用し、また放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しない場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。しかしながら、特定の方法で設置すれば障害を発生しないという保証は何もありません。このデバイスがラジオや TV 受信装置に有害な障害を与える場合は（デバイスの電源を一度切って入れなおすことにより確認できます）、障害を取り除くために次の方法にしてください。

- 受信アンテナの方向を変えるか、設置場所を変える。
- このデバイスと受信装置の距離をあける。
- このデバイスの受信装置とは別のコンセントに接続する。
- ディーラーか経験のあるラジオ/TV 技術者に問い合わせる。

警告：コンプライアンスに責任を持つ団体が認めない改造や変更を行うと、本機を操作する権利が失効します。

Industry Canada Statement

CAN ICES-003(B) / NMB-003(B)

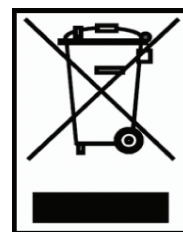
ヨーロッパ諸国における CE 準拠



本機は EMC 指令 2014/30/EU および低電圧指令 2014/35/EU に準拠します。

以下は、ヨーロッパ連合加盟国のための情報です。

右に示すマークは、WEEE 指令 2012/19/EU に準拠していることを意味します。マークは本機を無分別ゴミとして処理するのではなく、お住まい地域の条例に基づいて廃棄する必要があることを示しています。



RoHS2 準拠宣言

本機は、電気電子機器 (RoHS2 指令) における特定の有害物質の使用に関する制限にかかる欧州議会・理事会指令 2011/65/EU に準拠して設計、製造されており、以下に示すとおり欧州技術適合委員会 (TAC) が発行する最大濃縮率に準拠しています。

物質	最高濃度案	実際の濃度
カドミウム (Cd)	0.01%	< 0.01%
鉛 (Pb)	0.1%	< 0.1%
水銀 (Hg)	0.1%	< 0.1%
六価クロム (Cr6+)	0.1%	< 0.1%
ポリ臭化ビフェニル (PBB)	0.1%	< 0.1%
ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ジエチルヘキシル (DEHP)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ベンジルブチル (BBP)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ジブチル (DBP)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ジイソブチル (DIBP)	0.1%	< 0.1%

前述の一部の製品部品は、下記のとおり RoHS2 指令の付録 III から除外されます。

- 特定用途における冷陰極蛍光管および外部電極蛍光管 (CCFL および EEFL) に含まれる下記の量を超えない水銀 (ランプ 1 個あたり) :
 - » 最短 (500 mm) : ランプあたり最大 3.5 mg。
 - » 中 (> 500 mm および 1,500 mm) : ランプあたり最大 5 mg。
 - » 最長 (1,500 mm) : ランプ当たり最大 13 mg。
- 陰極線管のガラス内に含まれる鉛。
- 蛍光管のガラス内に含まれる鉛が重量の 0.2% を超えないこと。
- アルミニウムに含まれる合金元素としての鉛が重量の 0.4% を超えないこと。
- 銅合金に含まれる銅が重量の 4% を超えないこと。
- 高融点タイプのはんだに含まれる銅 (重量の 85% 以上が銅の銅ベースの合金など)。
- 圧電性機器など、蓄電器の誘電体磁器以外のガラスまたは磁器に含まれる鉛を含む電気および電子部品、またはガラスや磁器マトリックス混合物。

インドの有害物質に関する制限

有害物質に関する制限宣言（インド）本製品は「India E-waste Rule 2011」に準拠しており、同規則の別表 2 に記載する例外を除き、重量の 0.1 % を超える量の鉛、水銀、六価クロム、ポリ臭化ビフェニル、ポリ臭化ジフェニルエーテル、重量の 0.01 % を超える量のカドミウムの使用を禁止しています。

廃棄処分について

ViewSonic® は環境保護を重視し、人々がエコな環境で働き、生活できることに最善を尽くします。よりスマートな、より環境に優しいコンピューティングへのご協力に感謝します。詳細は、ViewSonic® ホームページをご覧ください。

米国およびカナダ：

<https://www.viewsonic.com/us/company/green/go-green-with-viewsonic/#recycle-program>

ヨーロッパ：

<http://www.viewsoniceurope.com/uk/support/recycling-information/>

著作権情報

Copyright© ViewSonic® Corporation, 2022. All rights reserved.

Microsoft、Windows、Windows ロゴは、米国およびその他の国における Microsoft 社の登録商標です。

ViewSonic® および 3 羽のトリのロゴは、ViewSonic® 社の登録商標です。

VESA は Video Electronics Standards Association の登録商標です。DPMS および DDC は VESA の商標です。

おことわり： ViewSonic® Corporation は、本書の技術的または編集的ミスについて、また記載されないことについていかなる責任も負いません。さらに、本製品を使用した結果生じたあらゆる偶発的、結果的損害について、本製品の性能または使用に関しても一切責任を負いません。

今後も製品の向上を図るために、ViewSonic® Corporation は予告なく製品仕様を変更する権利を有しています。本書の内容は、将来予告なく変更される場合があります。

本書の一部または全部を ViewSonic® 社の文書による許可なく複製、再生、転送することはいかなる方法においても固く禁止します。

カスタマーサービス

テクニカルサポートまたは製品補修については、下記の表に記載されるお問合せ先をご確認いただくか、販売店にお問合せください。

注：製品のシリアル番号をお手元にご用意ください。

国/地域	ホームページ	国/地域	ホームページ
アジア太平洋地域およびアフリカ			
オーストラリア	www.viewsonic.com/au/	バングラデシュ	www.viewsonic.com/bd/
中国 (China)	www.viewsonic.com.cn	香港 (繁体中文)	www.viewsonic.com/hk/
香港 (英語)	www.viewsonic.com/hk-en/	インド	www.viewsonic.com/in/
インドネシア	www.viewsonic.com/id/	イスラエル	www.viewsonic.com/il/
日本 (Japan)	www.viewsonic.com/jp/	韓国	www.viewsonic.com/kr/
マレーシア	www.viewsonic.com/my/	中東	www.viewsonic.com/me/
ミャンマー	www.viewsonic.com/mm/	ネパール	www.viewsonic.com/np/
ニュージーランド	www.viewsonic.com/nz/	パキスタン	www.viewsonic.com/pk/
フィリピン	www.viewsonic.com/ph/	シンガポール	www.viewsonic.com/sg/
臺灣 (Taiwan)	www.viewsonic.com/tw/	ประเทศไทย	www.viewsonic.com/th/
Việt Nam	www.viewsonic.com/vn/	南アフリカおよびモーリシャス	www.viewsonic.com/za/
アメリカ			
合衆国	www.viewsonic.com/us	カナダ	www.viewsonic.com/us
ラテンアメリカ	www.viewsonic.com/la		
ヨーロッパ			
ヨーロッパ	www.viewsonic.com/eu/	フランス	www.viewsonic.com/fr/
Deutschland	www.viewsonic.com/de/	Қазақстан	www.viewsonic.com/kz/
Россия	www.viewsonic.com/ru/	España	www.viewsonic.com/es/
Türkiye	www.viewsonic.com/tr/	Україна	www.viewsonic.com/ua/
英国	www.viewsonic.com/uk/		

限定保証

ViewSonic® プロジェクター

保証範囲：

ViewSonic は保証期間内において、通常の使用の下で材料および製造上の欠陥がないことを保証します。保証期間内に材料および製造上の欠陥が認められる場合は、ViewSonic の独自の判断により製品を修理または同等製品と交換します。交換製品またはパーツには、再生または改修済みパーツまたはコンポーネントも含まれます。

3 年間の一般保証

以下に、1 年保証が設定されているものを示します。南北アメリカ：ランプを除く全パーツは 3 年間、生産に関する故障は 3 年間、最初のランプで最初の購入日から 1 年間。

その他の地域および国：保証に関する詳細は、お近くの販売店または ViewSonic 社へおたずねください。

重用における 1 年保証：

本機を日常的に 1 日平均 14 時間以上重用する場合。南北アメリカ：ランプを除く全パーツは 1 年間、生産に関する故障は 1 年間、最初のランプで最初の購入日から 90 日間。ヨーロッパ：ランプを除く全パーツは 1 年間、生産に関する故障は 1 年間、最初のランプで最初の購入日から 90 日間。

その他の地域および国：保証に関する詳細は、お近くの販売店または ViewSonic 社へおたずねください。

ランプの保証は、諸条件、検証および承認の対象となります。メーカーが取り付けしたランプに限ります。別途購入された全アクセサリランプの保証期間は 90 日間です。

保証対象者：

この保証は、最初の購入者に対してのみ提供されます。

保証対象外：

1. シリアル番号が破損、改ざん、取り外されている製品。
2. 破損、劣化、故障の原因：
 - a. 事故、乱用、誤用、放置、火災、水害、落雷、その他の自然災害、不適切なメンテナンス、許可されない改造、本製品に付帯される指示に従わない使用。
 - b. 製品仕様外の操作。
 - c. 常識外での製品使用や異常な状態での使用。
 - d. ViewSonic が認めない人物による補修または補修の試み。
 - e. 出荷時の不具合。
 - f. 製品の撤去または設置。
 - g. 電力サージや停電などの外部からの原因。
 - h. ViewSonic の仕様に合わない部品の使用。
 - i. 通常の摩耗、消耗。
 - j. 製品の欠陥に関係しない原因。
3. 撤去、設置、設置サービス費。

補修を受けるには：

1. 保証範囲内において補修サービスを受けるには、ViewSonic カスタマーサービスにお問合せください (カスタマーサービス ページをご覧ください)。製品のシリアル番号をお手元にご用意ください。
2. 保証サービスを受けるには、(a) 購入日、(b) お客様のお名前、(c) ご住所、(d) 問題の詳細、(e) 製品のシリアル番号が必要です。
3. 製品を元の梱包材料に入れて、元払いで ViewSonic サービスセンターまで送りください。
4. 詳しい情報や、お近くの ViewSonic サービスセンターの名称については、ViewSonic 社までお問合せください。

黙示的保証の制限：

商用性または特定目的への適合性に対する黙示的保証を含め、ここに含まれない明示的または黙示的保証は一切行いません。

故障の除外：

ViewSonic の責任範囲は、製品の補修または交換を上限とします。ViewSonic の責任の除外：

1. このようなダメージの可能性が知らされていたとしても、本製品の欠陥により生じた他の所有物へのダメージ、不便性によるダメージ、使用の損失、利益の損失、商的机会の損失、のれんの減損、ビジネスパートナーとの関係性への干渉、その他の商的損失。
2. 偶発的、派生的に生じた故障。
3. 第三者からのお客様に対する苦情。

現地法の有効性：

この保証により、お客様には特定の法的権利が与えられます。また、在住している国によっては、お客様にその他の権利が与えられることもあります。一部の行政は示唆的保証の制限、偶発的または派生的ダメージの例外を認めない場合があります。その場合は、上記の制限や例外は適用されません。

米国およびカナダ以外での販売：

米国およびカナダ以外の国で販売された ViewSonic 製品に関する保証やサービスについては、ViewSonic またはお近くの販売店へお問合せください。

中国本土（香港、マカオ、台湾を除く）における本製品の保証期間は、メンテナンス保証カードに記載されている条件に基づきます。

ヨーロッパおよびロシアのお客様については、保証内容はホームページでご覧いただけます (www.viewsoniceurope.com under Support/Warranty Information)。

